



ビーミー

ユーザーマニュアル



お子様を
サポート



レッキー ビーミーは、機能や機動性を支援すると同時に姿勢を保つことができるようにデザインされています。このマニュアルでは、すべての機能を迅速、簡単かつ安全に活用する方法を説明します。安全およびメンテナンスに関する指示は、この製品を末永くご愛用いただくために必要なものです。

目次

1. 用途	p.03
2. 認証	p.05
3. 警告と注意	p.05
4. 保証条件	p.07
5. 製品の履歴	p.08
6. 製品のトレーニング履歴	p.08
7. 安全情報	p.09
8. 注意事項と禁忌	p.11
9. 日常利用のための頻繁な調整	p.12
10. 製品の日常点検	p.30
11. 製品の年次点検	p.31
12. Leckey製品の再使用	p.32
13. 製品の修理	p.33
14. 技術情報	p.34
15. シーティングシステムの開梱および組み立て方法	p.38
16. クッションのフィッティング	p.79
17. 姿勢管理のための臨床的設定	p.95

セクション 1:

用途

レッキー ビーミーは、後述するように、幅広いモビリティベースに対応しています。レッキー ビーミーは障害のあるお子さまが自宅、学校周辺、屋外（屋外用のベースを使用する場合）で使用するためにデザインされた、姿勢維持シーティングシステムです。

レッキー ビーミーでは、サイズを3種類ご用意しています。

- ・ スモールシートコアは、体重が 35kg までのお子さまに適しています
- ・ ミディアムシートコアは、体重が 50kg までのお子さまに適しています
- ・ ラージシートコアは、体重が 70kg までのお子さまに適しています
- ・ スモールバックサポートは、体重が 35kg までのお子さまに適しています
- ・ ミディアムバックサポートは、体重が 50kg までのお子さまに適しています
- ・ ラージバックサポートは、体重が 70kg までのお子さまに適しています
- ・ スモール高ー低 シャシーは、体重が 35kg までのお子さまに適しています
- ・ ミディアム高ー低 シャシーは、体重が 50kg までのお子さまに適しています
- ・ ラージ高ー低 シャシーは、体重が 70kg までのお子さまに適しています



安全情報

この製品システムを使用される方の体重が次の部品の耐荷重を**超過しない**ことが必要です

- ・ シートコア
- ・ バックサポート
- ・ シャシー

詳細は、セクション8「注意事項と禁忌」を参照してください。

このシーティングシステムはモジュラー式となっており、シャシーも屋内用と屋外用をお選びいただけます。高ー低 シャシーはレッキー ビーミー用にデザインされており、屋内用および屋外用があります。屋外用は、屋外の平らな場所でお使いいただけます。

レッキー ビーミーは、後述するように、幅広いモビリティベースに対応しています。

レッキー ビーミー	モビリティベースオプション	必要なインターフェイス
スモール	Sunrise Medical Zippie Iris	150-1760
	Sunrise Medical Zippie Iris	150-1760
	Sunrise Medical Zippie SR45	150-1760
	Sunrise Medical Q300M (Mini を含む)	150-1771
ミディアム	Sunrise Medical Zippie Iris	150-2760
	Sunrise Medical Zippie Iris	150-2760
	Sunrise Medical Zippie SR45	150-2760
	Sunrise Medical Q300M (Mini を含む)	150-2771
	Sunrise Medical Q400	150-2771
ラージ	Sunrise Medical Zippie Iris	150-3760
	Sunrise Medical Zippie SR45	150-3760
	Sunrise Medical Q300M (Mini を含む)	150-3771
	Sunrise Medical Q400	150-3771

詳細は、Leckeyのウェブサイト(www.leckey.com)を参照してください。

適応

ビーミーは、外部的な姿勢サポートなしではひとりで座ることが困難な、さまざまな障害を持つお子さまのニーズに応えることができるようにデザインされたモジュール式のシーティングシステムです。この製品は、基本的には家庭内、学校周辺の屋内、またはモビリティベースを使用する場合には屋外で使用することを想定しています。サイズは3種類あり、それぞれ使用者の体重上限が35kg (110lb)、50kg (132lb)、70kg (154lb) となっています。

ビーミーシートの調整可能な姿勢サポートは、中程度から複雑な姿勢ニーズ (GMFCS レベル III-V) のお子さまが使用することを想定しています。

セクション 2: 認証

レッキー ビーミーは、EUおよび英国の規定ではクラス1の医療機器に分類されています。製造元であるJames Leckey Design Ltdは、この製品が欧州医療機器規則 (MDR) 2017/745、英国医療機器規則 (MDR) 2002、および EN 12182:2012障がい者のための補助製品、一般要求事項および試験方法に準拠していると明言しています。

使用者と患者様へのお知らせ:この製品に関連する重大な事件が発生した場合、製造元および使用者や患者様の所在地がある加盟国の監督官庁に報告することが必要です。

セクション 3: 警告と注意

メモ:これらの指示に従わない場合、怪我をしたり、製品や環境を損傷したりする場合があります。

- **転倒の危険に関する警告:** 高一低 シャシーとシートを設定範囲の限界の位置で使用すると、安定性が低下します。高一低 シャシーを使用する際に、シート高を最大にしたりリクライニングを最大にしたりすることは、水平 (2度未満の傾斜) な場所においてのみ行ってください。傾斜 (最大 10 度) のある場所で使用する際には、シートの背もたれを直立させ、シート高を最低にしてください。
- **指はさみの危険に関する警告:** 操作を行う人やそばにいるお子さまの指が、電動高一低 シャシーの上下動機構に挟まれないように注意してください。
- **使用者の安全に関する警告:** 2点式ベルトを使用する際には、カムロックの上にあるシートコアのスロットにベルトが通っていることを確認してください。
- **使用者の安全に関する警告:** 使用者の固定具すべて、特に骨盤ベルトが締められており、使用者が安全に固定されるように調整されていることを、シートを動かしたり、固定式のシートのそばから離れたりする前に確認してください。

- **使用者の安全に関する警告：**ビーミーを車などでの移動に使用する際には、可動式バックサポートを「固定」位置にセットしてください。
- **指はさみの危険に関する注意：**シート部品を組み立てたり位置調整したりする際には、シート部品を動かしたり取り付け部品を締めたりするときに指を挟まないように注意してください。
- **日常的なチェックに関する注意：**シーティングシステムは毎日使用前にチェックして、すべての固定具やシーティング部品がシートやシャシーにしっかりと取り付けられていることを確認してください。また、バッテリーの充電ケーブルも損傷の兆候がないか確認してください。チェック内容の詳細については、セクション 11 を参照してください。
- **電動シャシーのつまずきの危険に関する注意：**シートを動かす前に、電動シャシーのバッテリー充電コードがシーティングシステムから取り外されていることを確認してください。
- **清掃に関する注意：**シーティングシステムは定期的に清掃して、シーティング部品やシャシーに汚れがたまらないようにしてください。汚れがたまるとシートのクッションの寿命が短くなったり、シャシーの故障を招いたりすることがあります。研磨剤を含まない家庭用洗剤と湿らせた布だけを使用し、シートに取り付けた状態のクッションに水をかけないようにしてください。セクション 10 を参照してください。
- **高圧洗浄機やホースを使用した清掃に関する注意：**フレーム部品をホースや高圧洗浄機で洗わないでください。電動シート調整システムは流水に対する防水機能がないため、水が入って損傷することがあります。セクション 10 を参照してください。
- **電動高一低 シャシーの電子部品の手入れや修理に関する注意：**電動高一低 シャシーの電動リフト機構には、ユーザーがメンテナンスを行える部分はありません。お手入れや修理は、Leckey の認定担当者のみが行うようにしてください。
- **廃棄に関する注意：**シーティングシステムは必ず地域の廃棄物処理場に廃棄し、電動部品は取り外して別途廃棄してください。
- **使用を再開する場合に関する注意：**保管していたシーティングシステムを再度使用する場合は、まず 2 時間程度室温になじませてください。製品に水滴などが付着している場合はすべて拭き取ってください。

セクション 4: 保証条件

保証は、製品が指定された条件下で本来の用途のために製造者の推奨事項すべてに沿って使用された場合にのみ適用されます。当社のウェブサイトに掲載されている販売、配送、支払いの一般条件も併せてご覧ください (<https://www.leckey.com/terms-and-conditions-of-sale>)。

Leckeyが製造した製品および部品にはすべて、3年間の保証が付けられています。

セクション 5: 製品の履歴

使用されるLeckey製品は医療機器であり、この製品の使用に関するトレーニングを受けた技術的能力のある人物のみが処方や設定、再使用を行うことが必要です。Leckeyでは、この製品に関する設定や再使用のための検査や年次点検のすべてを書面に記録して残すことを推奨しています。

セクション 6: 製品のトレーニング履歴

(両親、教師、介助者)

使用されるLeckey製品は処方が必要となるクラス1医療機器であり、Leckeyではこの機器を使用されるご両親、教師、介助者がこのユーザーマニュアルの次のセクションについて認識することを技術的能力のある人物が促すことを推奨します。

- **セクション 7** 安全情報
- **セクション 9** 日常利用のための頻繁な調整
- **セクション 10** 清掃とお手入れ
- **セクション 11** 製品の日常点検

Leckeyでは、この製品を正しく使用するためのトレーニングを受けた人物すべてを書面に記録して残すことを推奨しています。

セクション 7: 安全情報

- 7.1 ご使用前には必ず、説明書をすべてお読みください。
- 7.2 より安全にお使いいただくため、Leckeyの機器を使用する際には常に使用者のそばを離れないことを推奨します。
- 7.3 製品には、Leckeyに認定されている部品のみを使用してください。いかなる形であれ、この製品を改変しないでください。指示に従わない場合、使用者や付添人を危険にさらす可能性があり、また製品の保証が無効になることがあります。
- 7.4 ご使用のLeckey製品の安全性に疑問が生じた場合や部品に不具合が生じた場合は、製品の使用を中止し、速やかに当社のカスタマーケアチームまたは担当の販売店に連絡してください。
- 7.5 使用者を製品に乗せる前に、すべての位置調整を行って安全に固定されていることを確認してください。製品に付属している工具を使用して行う調整もあります。工具はすべて、お子さまの手の届かないところに置いてください。
- 7.6 使用者を製品に乗せる際には、体位と安全の維持のため、常に骨盤ベルトを最初に締めてください。
- 7.7 この製品を停止させている間は、すべてのキャスターをベースの外方に向けた状態でロックしてください。外方に向けてると、安定性が高まります。このことは、ティルトインスペースや背もたれのリクライニング機能を使用している場合には特に重要です。
- 7.8 高一低 シャシーでシートを使用している場合、高さ調節ペダルとティルトインスペースのレバーは必ずロックし、他のお子さまが誤って動かすようなことがないようにしてください。
- 7.9 レッキーシーティングシステムを高一低 シャシーで使用する場合、この機器に使用者を乗せたまま整地されていない場所に移動することはお勧めしません。シートの乗り降りには十分な注意を払うことが必要です。
- 7.10 シートの地点間移動には、プッシュハンドルのみを使用してください。移動のためにトレイやヘッドサポートを使用することは絶対におやめください。
- 7.11 この製品には、小さなお子様が誤飲する恐れがある部品が使用されています。お子さまの手が届く範囲にあるロック用のノブやボルトがしっかりと確実に締まっていることを確認してください。
- 7.12 Leckeyの製品はEN12182に定められた防火規則に準拠しています。しかしながら、この製品にはプラスチック製の部品が使用されており、裸火、たばこ、ガスヒーターといった熱源には近づけないようにしてください。
- 7.13 トレイには40°C (104°F) を超える物を置かないでください。

- 7.14** この製品は屋内で使用することを前提に設計されています。使用しない時には過度な温度変化のない乾燥した場所に保管してください。安全に使用できる温度範囲は、+5～+40°C (41～104°F) です。
- 7.15** プッシュハンドルのプラスチック製ハンドノブがしっかりと固定されていること、2つのボタンキャップねじでプッシュハンドルがシャシーに固定されていることを、シートを動かす前に常に確認してください。
- 7.16** シーティングシステムを使用する前には常に、シートコアがシャシーにしっかりととはまっていることを確認してください。シートコアがきちんととはまっていなると、シート部品が緩み、お子さまや介助者が深刻な怪我を負うことがあります。
- 7.17** トレイ下の隙間に注意し、お子さまが金属製の取付金具とプラスチック製のトレイベースの隙間に指を挟まないようにしてください。
- 7.18** このシステムの使用者の最大重量は、シート、バックサポート、シャシーの耐荷重よりも少ないことが必要です。
- 7.19** ティルトインスペース機能を使用する際には常に、ハンドルバーを掴んでいるかシートを固定して、使用時にがたつかないようにしてください。

レッキー ビーミー 衝突試験

レッキー ビーミーは、車に乗せて使用するための衝突試験に合格しており、ISO16840のパート4の要件を満たしています。詳細については、当社のカスタマーケアチームにお問い合わせください。試験は、レッキーヘッドサポートを装着した代替ベースに完全な設定を行ったものを使用して実施されました。

レッキー ビーミーシートを車の中で使用する場合、次の点を必ず守ってください：

- レッキー ビーミーは前向きに配置すること。
- 必ず Unwin の拘束装置とヘッドサポートを使用し、移動中はこれらを常に適切に配置すること。

重要

これらの衝突試験の詳細はレッキー ビーミーおよびインターフェイスプレートに関するものです。レッキー ビーミーをモビリティベースで使用している場合、衝突試験の詳細は車椅子製造元のハンドブックを参照してください。

医療機器の組み合わせ

レッキー ビーミーは1つ以上の医療機器や他製品と組み合わせで使用することができます。可能な組み合わせに関する情報は、www.leckey.comを参照してください。ここに記載されている組み合わせは、欧州医療機器規則(MDR) 2017/745のセクション14.1、安全性及び性能に関する一般要求事項(GSPR)を満たしていることが検証されています。

マウントなど、組み合わせに関するガイダンスはwww.leckey.comを参照してください。

セクション 8: 注意事項と禁忌

- 脊椎側弯症や脊柱後弯症といった、拘縮した脊柱変形
- 重度の筋拘縮
- 股関節脱臼を含む筋肉や骨格の重度の非対称性
- 進行性の筋消耗状態
- 骨折のリスクが高いか、最近骨折をした
- 褥瘡または開放創のリスクが高い
- 強く、制御不能な運動パターン
- 制御できない発作活動
- 胃瘻に依存している小児
- 呼吸障害または心臓血管機能の障害を含む医学的に不安定な状態
- 酸素ボンベなどのサードパーティー生命維持装置の使用者
- 重度の学習障害や行動障害

禁忌

レッキー ビーミー製品に関連する禁忌はありません。

すべての注意事項と禁忌は、処方する臨床医の裁量にゆだねられます。Leckeyでは、トレーニングを受けた経験ある臨床医が初期評価、設定、構成、および再使用に立ち会うことでリスクを最小限に抑えることを推奨します。

セクション 9: 日常利用のための頻繁な 調整

(セラピスト/介助者/両親)

ご両親および介助者は、この製品の使用に関するトレーニングを受けた技術的臨床的能力を有する人物により、頻繁に行うべき調整の方法を示されること、セクション7に記載されている安全確認について認識させられることが必要です。Leckeyでは、この製品の使用に関するトレーニングを受けたご両親と介助者すべてを画面に記録して残すことを推奨しています。

セクション 9.1: お子さまのシートへの乗 り降り

お子さまをシートへ乗せる前に、このユーザーマニュアルのセクション11の記述に従って製品の日常点検を行ってください。

シートを乗り降りしやすい角度に調整します。すべてのキャスターを外向きにしてロックし、製品が最も安定するようにします。

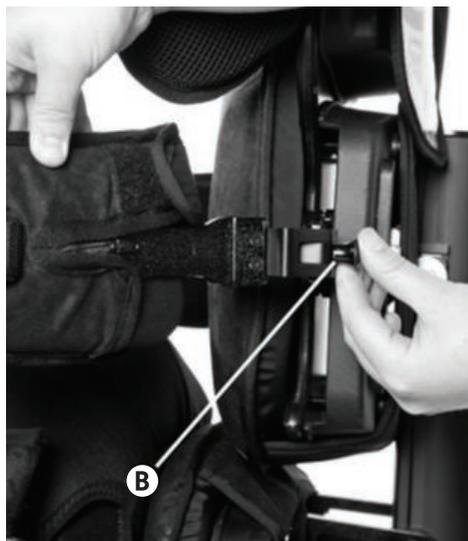
シートに折りたたみ式胸部ラテラル、胸部ベルト、またはフレキシブル胸部全面ラテラルパッドが付いている場合、まずこれらを動線外によけます(セクション9.2を参照)。

骨盤ベルトまたは中央の骨盤クレイドルのクリップを外し、骨盤クレイドルのマジックテープを外して、乗り降りに備えてハーネスを解放します。最後に、サンダルが付いている場合にはストラップを開放します。これで、お子さまをシートに乗せる準備ができました。

骨盤ベルトと骨盤クレイドルは中央のバックルと(骨盤クレイドルについては)側面のマジックテープで締めます。使用者がシートにいる間は常にクリップがしっかりとめられていることを確認してください。

セクション 9.2: 折りたたみ式ラテラルの 操作

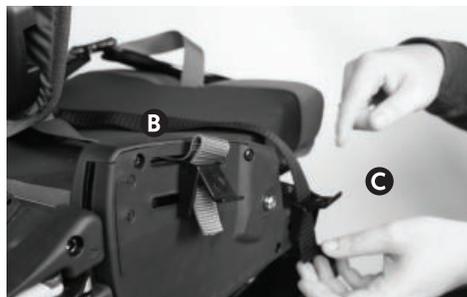
折りたたみ式ラテラルを操作するには、下の写真に示すように、ピン **B** を引きます。



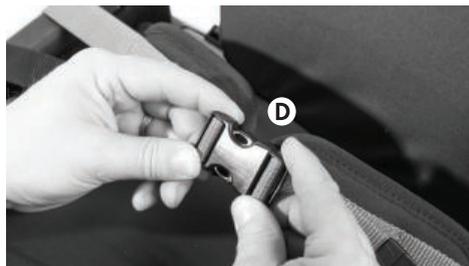
乗り降りしやすくするため、フレキシブル胸部全面ラテラルパッドカバーを一時的に外向きに動かして、ゴムベルトの下に固定できます。

セクション 9.3: 4点式ベルトの取り付け、 取り外し、調整

4点式ベルトを取り付けるには、グレーのベルトをシートの台座 **A** の上のスロットに通し、続いてカムバックル **B** に通します。黒のベルトを前方のカムバックル **C** に通します。ベルトをしっかり引いてカムバックルをとめます。ベルトのパッドがお子さまに向いていることを確認してください。



バックル **D** を前で留め、使用者を固定します。



常に骨盤ベルトを最初に取り付け、続いてその他の調整を行います。



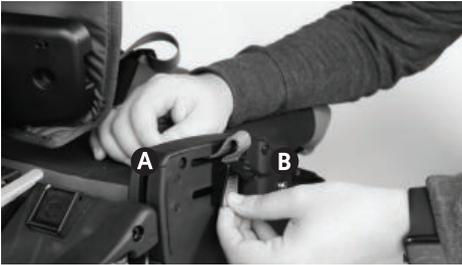
4点式ベルトを外すには、この手順を逆に行います。



安全情報: 2点式ベルトを使用する際には、シートコアのスロットにベルトが通っていること(シートコアの上ではないこと)を確認してください。これは、4点式ベルトを使用する際にも推奨します。

セクション 9.4: 2点式ベルトの取り付け、 取り外し、調整

2点式ベルトを取り付けるには、グレーのベルトをシートの台座 **A** の上のスロットに通し、続いてカムバックル **B** に通します。ベルトをしっかりと引いてカムバックルをとめます。ベルトのパッドがお子さまに向いていることを確認してください。



バックル **C** を前で留め、使用者を固定します。



2点式ベルトを外すには、この手順を逆にを行います。



安全情報: 2点式ベルトを使用する際には、シートコアのスロットにベルトが通っていること(シートコアの上ではないこと)を確認してください。これは、4点式ベルトを使用する際にも推奨します。



常に骨盤ベルトを最初に取り付け、続いてその他の調整を行います。

セクション 9.5: 骨盤クレイドルの調整

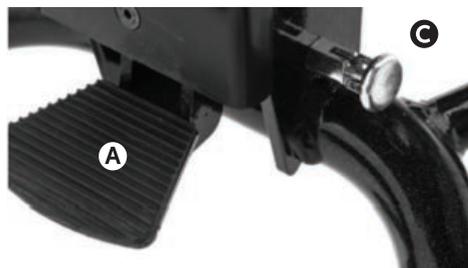
骨盤クレイドルは、使用者の快適さや骨盤の安定性を維持するために、前部のグレーのベルト**①**、または側面のフリップダウンロック**②**を使用して締めたり緩めたりできます。



セクション 9.6: シャシーの高さ調節—ガ ススプリング

安全のため、シャシーの高さ調節ペダルはペダル右横のピン**③**で固定することが必要です。ロックを解除するには、ピンを引いて90度回します。ペダルを操作できるようになります。

この調節は、お子さまをシートに乗せた状態で行えます。高一低 シャシーの高さを調節するには、プッシュハンドル**④**を掴んでシャシーの後方にあるフットレバー**⑤**を押します。ペダルから足を放すと、シートはその高さに固定されます。



高さ調節機能を使用した後は、ピンを元に戻して再度固定します。

セクション 9.7: シャシーの高さ調節—油 圧式 (ポンプアクション)

椅子を高くするには、希望する高さになるまでフットペダルを踏みます (1回踏むたびに椅子が上がります)。椅子を低くするには、ペダルの下に足を入れてペダルをそっと持ち上げます (椅子は自動的に下がります)。



セクション 9.8: ティルトインスペース—ス モール高—低 シャシー



警告:

ティルトインスペースの操作を行う際には、使用者が前方に振られてしまわないように、片手でプッシュハンドルをつかんでいてください。

ティルトインスペースのレバーは常にロック位置に保ち、レバーが誤って動くことがないようにしてください。シートが急に動いてお子さまが怪我をする恐れがあります。

ティルトインスペースの操作を行う際には、ハンドルバーを使用してください。

ティルトインスペースを使用することでお子さまの気道に閉塞が起こらないかどうか、担当のセラピストに常に確認してください。



警告: ティルトインスペースは水平な場所でのみ使用してください。シート位置が高い状態でティルトインスペースを使用すると、傾斜のある場所にシーティングシステムをとめた時に不安定になる恐れがあります。ティルトインスペースの角度は、使用者を乗せたまま変更されます。シートのティルトインスペース角度を調整する前には常に、骨盤ベルトがしっかりと締まっていることを確認して、使用者がシートから滑り落ちないようにしてください。

セクション 9.9: ティルトインスペースミ ディアム高一低 シャシー



警告:

ティルトインスペースの操作を行う際には、使用者が前方に振られてしまわないように、片手でプッシュハンドルをつかんでください。

ティルトのロックを解除するには、ロックピン ① を引いて回します。レバーを押してティルトを操作します ②。急に動き出さないように、シートかプッシュハンドルを常に掴んでいてください。

①



②



警告: ティルトインスペースは水平な場所でのみ使用してください。シート位置が高い状態でティルトインスペースを使用すると、傾斜のある場所にシーティングシステムをとめた時に不安定になる恐れがあります。ティルトインスペースの角度は、使用者を乗せたまま変更されます。シートのティルトインスペース角度を調整する前には常に、骨盤ベルトがしっかりと締まっていることを確認して、使用者がシートから滑り落ちないようにしてください。

ティルト角度を調整するには、シートベースの下にあるレバーを押します。希望する角度になったら、レバーから手を放します。椅子はその位置で固定されます。ティルトインスペースは、使用者を乗せている間はロックしておく必要があります。

レバーをロックするには、ピンをレバーの右側に回します。ピンが元の位置にはまります**②**。ロックするには、レバーを少し上げることが必要になる場合があります。ロックを解除するには、ピンを引いて90度回します。レバーを操作できるようになります**①**。



ティルトインスペースのレバーは常にロック位置に保ち、レバーが誤って動くことがないようにしてください。シートが急に動いてお子さまが怪我をする恐れがあります。

ティルトインスペースの操作を行う際には、ハンドルバーを使用してください。

ティルトインスペースを使用することでお子さまの気道に閉塞が起らないかどうか、担当のセラピストに常に確認してください。

セクション 9.10: ティルトインスペース— ラージ高—低 シャシー



警告: ティルトインスペースは水平な場所でのみ使用してください。シート位置が高い状態でティルトインスペースを使用すると、傾斜のある場所にシーティングシステムをとめた時に不安定になる恐れがあります。ティルトインスペースの角度は、使用者を乗せたまま変更できません。シートのティルトインスペース角度を調整する前には常に、骨盤ベルトがしっかりと締まっていることを確認して、使用者がシートから滑り落ちないようにしてください。

ティルト角度を調整するには、プッシュハンドルにあるレバーを引き**①**、シートを希望する角度に傾けたらレバーから手を放します。



ティルトインスペースのレバーは常にロック位置に保ち、レバーが誤って動くことがないようにしてください。シートが急に動いてお子さまが怪我をする恐れがあります。

ティルトインスペースの操作を行う際には、ハンドルバーを使用してください。

ティルトインスペースを使用することでお子さまの気道に閉塞が起こらないかどうか、担当のセラピストに常に確認してください。

セクション 9.11: 可動式バックサポートの 抵抗調整

背もたれ角度の拡大に対する抵抗は空気圧を変えることにより調節でき、使用者の体重、着座姿勢、シートのデザイン、個人的な好みによって決めます。

空気圧は、可動メカニズムのメイン空気バルブ **B** と空気ポンプ **A** (可動式バックサポートすべてに付属) を使用することにより調節できます。



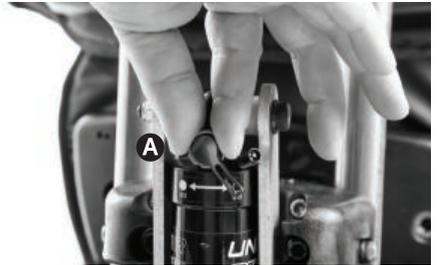
空気圧を上げるには、希望する空気圧になるまでバルブに空気を入れます。空気圧を下げるには、希望する空気圧になるまでポンプの空気抜きバルブを押します。



警告：空気圧の範囲は50～250psiです。非圧縮ショックシステムの空気圧が250psiを越えないようにしてください。最大圧力である250lb/インチを超過すると、深刻な怪我を負う恐れがあります。

セクション 9.12: 可動式バックサポートの 速度調整

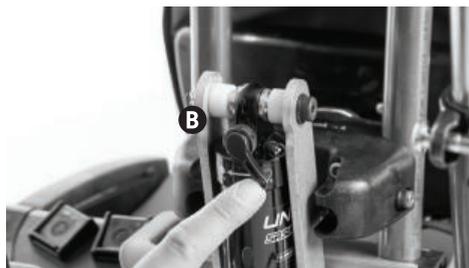
可動式バックサポートの戻り速度を調整するには、ダイナミックショックに付いている赤いホイール **A** を回します。このホイールを時計回りに回すと戻り速度が遅くなり、半時計回りに回すと戻り速度が速くなります。



必要な戻り強度は使用者の体重、空気圧の設定によるばね定数、使用量、座り方、個人的な好みによって異なります。最適な戻り強度の調節方法は、いったん最小限に設定してシートに使用者を乗せてテストすることです。使用者が快適だと感じるまで、サスペンションが使用者の体を前に押し出しすぎない安全な範囲内でゆっくりと強度を上げていきます。

セクション 9.13: 可動式バックサポートを 「固定」する

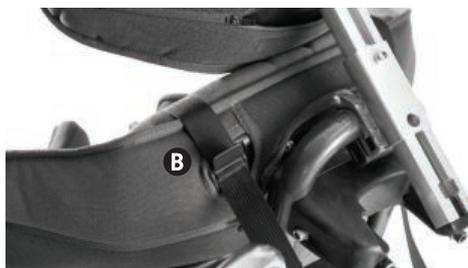
可動式バックサポートをロックするには、ダイナミックショックの青いレバーを「ロック」位置 **A** にします。可動式バックサポートのロックを解除するには、「解放」位置 **B** にします。



安全情報: ビーミーを車などでの移動に使用する際には、青いレバーを「固定」位置にセットすることが必要です。

セクション 9.14: バタフライハーネスの調 節

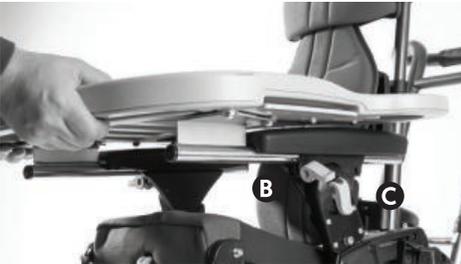
バタフライハーネスを調節するには、シートベース背面のカムバックル **A** またはバックサポート上部 **B** に通しているベルトの長さを変更します。あるいは、ハーネス **C** の四隅にあるストラップに付いているベルトいずれかの長さを調節します。



セクション 9.15: トレイの着脱

トレイを挿入する前に、各アームレストの前面にあるカムレバー **A** が解放されていることを確認します。

トレイを取り付けるには、トレイの軸をアームレスト中央 **B** に挿入します。この時、トレイの軸が受け口の反対側 **C** に出ていることを確認してください。トレイの位置が決まったら、カムレバー **A** をしっかりと締めます。



トレイを挿入する際には常に、お子さまの手や腕が挟まれないように注意してください。

トレイを使って椅子を操作したり押したりすることは絶対にやめてください。

トレイには摂氏40度(華氏104度)を超える物を置かないでください。

トレイは使用者のみが使うことを想定しています。トレイにもたれたり、8kg(17.6lb)を超える物を置いたりしないでください。

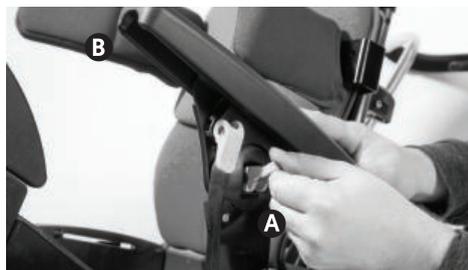


トレイ下の隙間に注意し、お子さまが金属製の取付金具とプラスチック製のトレイベースの隙間に指を挟まないようにしてください。

トレイを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 9.16: トレイ角度の調節

トレイの角度を調節するには、アームレスト中央にあるカムレバー **A** を使います。カムレバーを起こしてロックを解除し、トレイ/アームレスト **B** の角度を好みの位置に調節します。カムレバーを下げて、位置を固定します **C**。



トレイを挿入する際には常に、お子さまの手や腕が挟まれないように注意してください。

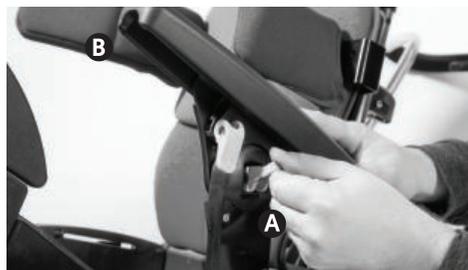
トレイを使って椅子を操作したり押したりすることは絶対にやめてください。

トレイには摂氏40度(華氏104度)を超える物を置かないでください。

トレイは使用者のみが使うことを想定しています。トレイにもたれたり、8kg(17.6lb)を超える物を置いたりしないでください。

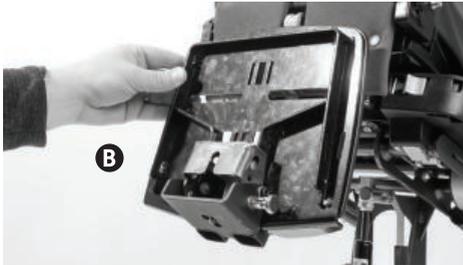
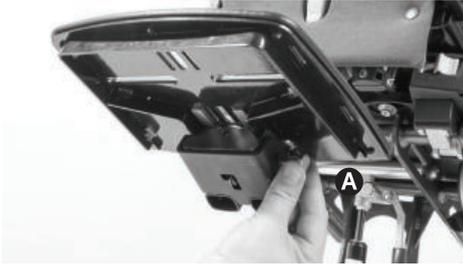
セクション 9.17: アームレスト角度の調節

アームレストの角度を調節するにはアームレスト中央にあるカムレバー **A** を使います。カムレバーを起こしてロックを解除し、アームレスト **B** の角度を好みの位置に調節します。カムレバーを下げて、位置を固定します **C**。



セクション 9.18: 折りたたみ式フットプレート の操作

一体型フットプレートを折りたたむには、フットプレートの裏側にあるプランジャー **A** を探し、外側に引いてピンを開放します。フットプレートを上に回転させ **B**、プランジャーを開放すると、ピンが上向きのロック位置になります。

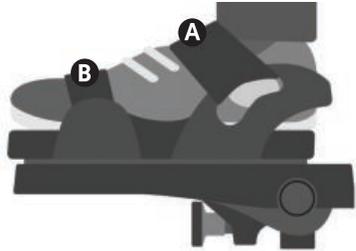


一体型フットプレートを下すには、この手順を逆に行います。

分離型のフットプレートにはロック機構がありません。分離型のフットプレートを折りたたむには、それぞれのフットプレートを上方向に回転させます。

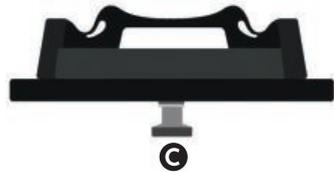
セクション 9.19: サンダルの調節

使用者の足をサンダルに固定するには、付属のマジックテープで足が動かないようにとめます。マジックテープは足の甲 **A** とつま先 **B** の上に来るようにします。前方のテープは、使用者の足のサイズに応じて、サンダルの両脇にある2つのスロットのうちの1つに通します。



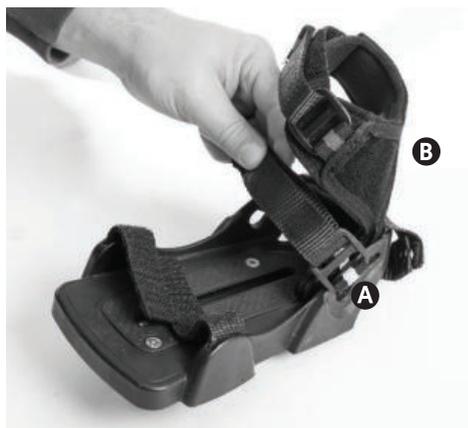
お子さまがサンダルや軽い履物を履いている場合、ベルトが皮膚に不快感を与えていないことを確認してください。

フットプレートのサンダルの位置を調節するには、ノブ **C** を緩めて希望する位置に動かします **D**。ノブを締めて、位置を固定します。



セクション 9.20: アングルラップの調節

アングルラップを調節するには、足の甲 **A** と足首 **B** のマジックテープの位置を調節します。



セクション 9.21: 足首ストラップの調節

足首ストラップを調節するには、足首まわりのマジックテープ **A** の位置を調節し、トライガイドに通しているストラップ **B** の長さを調節します。



セクション 9.22: ブレーキをかける

屋内用のシャシーのブレーキをかけるには、ブレーキペダル **A** を「カチッ」という音がするまで踏みこみます。これを4つの車輪すべてに行います。ブレーキを解除するには、ブレーキペダルの上端を足で軽くたたきます。ペダルが元の位置に戻ります。



屋内/屋外用シャシーやラージ高一低 シャシーにブレーキをかけるには、後輪の前にあるプッシュプル型の手動ブレーキレバー **B** を押し込みます。解除するには、レバーを引き上げます。屋内/屋外用シャシーやラージ高一低 シャシーには前輪ブレーキがありません。



モビリティベースのブレーキのかけ方は、製造元の説明を参照してください。

セクション 9.23: プッシュハンドルの高さ 調節

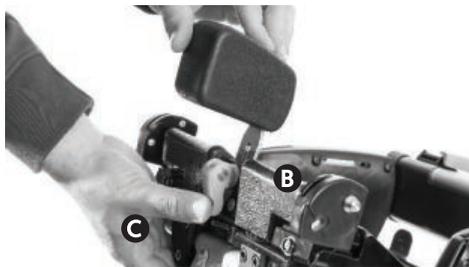
プッシュハンドルの高さを調節するには、プッシュハンドルのパイプについているロックレバー **A** を両方ともゆるめ、希望する位置まで上下に動かします。ロックレバーを締めて位置を固定します。



セクション 9.24: ポメルの着脱

ポメルはベーシックシートにのみ取り付けられています。ポメルの薄い方の端がお子さまに向いているのが正しい状態です。

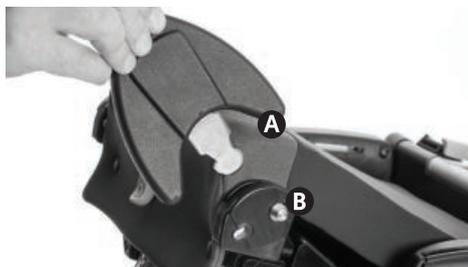
ポメルを取り付けるには、シート前方のカムロック **A** を開き、ポメルの取付金具をシートクッションの開口部からシートの受け側のスロット **B** に差し込みます。固定されるように、しっかりとレバー **C** を押し込みます。ポメルがシーティングエリアの外側にあるように、向きを正しく調整します。



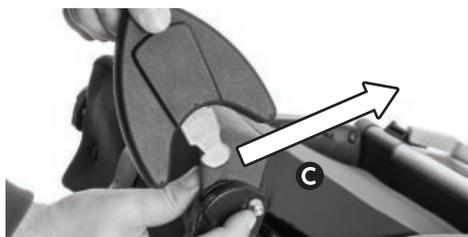
取り付け部品が緩くなってきた場合は、カムレバー **A** を上げた状態で、中にあるねじを時計回りに締めます。ポメルを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 9.25: 大腿部サポートの着脱

大腿部サポートを取り付けるには、シートの受け **B** に大腿部サポートのパイプ **A** を差し込み、下方向に押し込みます。大腿部サポートを上方向に引いて、しっかりとハマっていることを確認します。

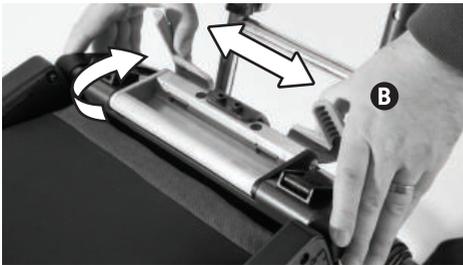
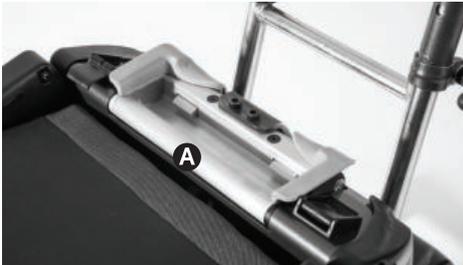


大腿部サポートを取り外すには、銀色の解除ボタンを斜め上にスライドさせ **C**、大腿部サポートをスロットから引き抜きます。



セクション 9.26: バックサポートの着脱

バックサポートを取り付けるには、シートベースの後ろにあるバックサポートの受け **A** を見つけます。シートベースの後ろにある受けのロックレバー **B** を外側に向かって**水平方向**に引いたあとに上方に回して解放します。



バックサポートのベース **C** を受けに入れて、一番奥まで入っていることを確認します。レバーを下向きに回し **D**、内側に押し込んで **E**、バックサポートを固定します。

バックサポートを引き上げたり前後に動かして、しっかり固定されていることを確認します。

セクション 9.27: 清掃とお手入れに関する 情報

メンテナンス方法:

清掃の際には、ぬるま湯と研磨剤を含まない洗剤のみを使用することを推奨しています。有機溶剤やドライクリーニング剤は決して使用しないでください。

クッションと布地

クッションカバーは、取り外して、洗濯機を使って60°Cのお湯で洗い(可能であれば低速回転での洗浄を推奨)、低温の乾燥機にかけることができます。ストレッチ素材の生地は60°Cで何度か洗うと変色することがありますが、生地の性能には影響しません。変色を防ぐには、温度を低くしてください。

次のもののカバーを洗う際には、フォームを取り除いてください。

- ベーシックバックサポート
- シートクッション

その他の柔らかいクッションはすべて、留め具を取り外した後はそのまま洗濯機に入れることができます。

1. クッションと布地は、取り付けたまま手で清掃することもできます。清掃の際には、ぬるま湯と研磨剤を含まない洗剤のみを使用することを推奨しています。
2. 革新的な機能—当社のストレッチ生地は液体が付着しても30分間は浸みこまないため、余裕をもって清掃できます。

3. 汚れはできるだけ速やかに、吸水性の良い布やタオル、スポンジで除去してください。通常の汚れや少量の食べこぼしであれば、洗剤とぬるま湯での定期的な拭き掃除で十分です。生地を濡らしすぎないように注意してください。汚れを広げてしまうことがあります。
4. しつこい汚れには、殺菌効果のある洗剤を使用することができます。そのような場合、イソプロピルアルコールやミネラルスピリットといった安全な溶剤が必要なことがあります。
5. 骨盤や胴部のハーネスは洗濯機を使って60°Cのお湯で洗えます。洗濯機を傷つけないように、洗濯前にボルトやファスナーをすべて外してください。外したものは、おさまの手の届かないところに安全に保管してください。
6. 使用する前には常に、製品が乾いていることを確認してください。

金属およびプラスチック製部品

1. 日常的な清掃には、石鹼と水、または抗菌スプレーを使用できます。
2. シャシーは湿らせた布で清掃し、流水をかけないでください。
3. プラスチックや金属製の部品の清掃に溶剤を使用しないでください。
4. 使用前には、製品が乾いていることを確認してください。

セクション 10: 製品の日常点検

(セラピスト、ご両親、介助者)

当社では、セラピスト、介助者、またはご両親が目視検査を毎日行って、製品を安全に使用できるか確認することを推奨しています。推奨する日常点検の詳細は次のとおりです。

1. 可動部品に横方向へのずれやぐらつきがないことを確認します。調整用のノブやねじが正しく取り付けられ、きちんと固定されていることを確認します。
2. クッションやマジックテープに傷みがないことを確認します。
3. すべてのキャスターが自在に動き、しっかりとロックできることを確認します。
4. シートユニットがシャシーにしっかりと固定されていることを確認します。また、リクライニング式バックレストのロックレバーがしっかりとかかっていることも確認します。
5. 使用者の体に骨盤ベルトがしっかりと締められていて、シート前方に滑ったりずれたりしないことを確認します。
6. フットプレートがしっかりと装着されていることを確認します。

ご使用の Leckey 製品の安全性に疑問が生じた場合や部品に不具合が生じた場合は、製品の使用を中止し、速やかに当社のカスタマーケアチームまたは担当の販売店に連絡してください。

セクション 11: 製品の年次点検

(セラピスト、技術者、Leckey製品のスペシャリスト、販売店)

Leckeyでは、製品の詳細な点検を1年に1度以上、また製品の再利用時には毎回、実施することを推奨しています。この点検は、製品の使用に関するトレーニングを受けた技術的能力のある人物が行うこと、また少なくとも次の項目について確認することが必要です。

1. 可動部品に横方向へのずれやぐらつきがないことを確認します。調整用のノブやねじが正しく取り付けられ、きちんと固定されていることを確認します。
2. すべてのラチェットハンドル、ノブ、ナット、ボルト、プラスチック製バックルが所定の位置にあることを確認し、なければ交換します。次のものには特に注意を払ってください；
 - ヘッドサポートのロックボルト
 - バックサポートの高さおよび角度の調節ボルト
 - シート奥行の調節ボルト
 - 骨盤ベルト / ヒップサポートアタッチメント
 - フットレストの高さおよび角度の調節ボルト

3. 高ー低 シャシーの高さ調節メカニズムが正常に機能していることを確認してください。フットペダルで操作できるシャシーの場合、ペダルを放してもシート高が変わらないことを確認してください。また、シャシーの高さが誤って変わることがないように、ロックピンがしっかりとハマっていることを確認してください。
4. シートをティルトインスペースの最大範囲に調節して、ロックレバーがこの範囲のさまざまなポイントでシートをしっかりとロックできることを確認してください。
5. シートとシャシーの接続部分にある金属部品に視認できる傷みがないことを確認してください。
6. ベースを持ち上げて、個々のキャスターを確認してください。自在に動くことを確認し、ゴムタイヤから汚れを取り除いてください。ブレーキがタイヤをしっかりとロックできることを確認してください。
7. フレームの溶接部分に注意しながら製品の構造を目視検査し、溶接に疲労や損傷がないことを確認してください。
8. Leckeyでは、製品の年次点検すべてを書面に記録して残すことを推奨しています。

ご使用のLeckey製品の安全性に疑問が生じた場合や部品に不具合が生じた場合は、製品の使用を中止し、速やかに当社のカスタマーケアチームまたは担当の販売店に連絡してください。

セクション 12: Leckey製品の再使用

(セラピスト、ご両親、介助者)

ほとんどのLeckey製品は、個別の使用者のニーズを評価し、それに合うように作られています。当社では、製品の再使用に先立って、処方するセラピストが新しい使用者に対する機器の妥当性について確認し、再使用する製品に改変が加えられていたり特殊な付属品がついていたりしないことを確認することを推奨しています。

再使用前には、製品に対して詳細な技術的検査を実施しなければなりません。これは、製品の使用および検査に関するトレーニングを受けた技術的能力のある人物が行うことが必要です。実施することが求められる検査項目については、セクション12を参照してください。

製品がこのマニュアルのセクション10に従って徹底的に清掃されていることを確認します。

メモ:製品を消毒する前には必ず清掃をして、たまった汚れを落としてください。

1. 可能であれば、自動噴霧タイプの消毒システムを使用して製品の表面すべてに消毒剤をかけることを推奨します。使用前に対象のシステムに関する製造元の指示を参照し、厳格に従ってください。
2. 自動消毒システムを使用できない場合、製品の表面すべてを除菌シートまたは消毒液を浸み込ませた柔らかい布で拭きます。最適な薬剤は濃度70%のIPA、濃度70%のアルコール、または希釈した漂白

剤です。使用する製品に関する製造元の指示に従ってください。製品のクッションと布地は、このマニュアルの「清掃とお手入れに関する情報」セクションの指示に従って徹底的に清掃してください。

製品にはユーザーマニュアルを忘れずに添付してください。マニュアルは当社のウェブサイトleckey.comでお求めいただけます。

Leckeyでは、製品の再使用に際して行われた製品検査すべてを書面に記録して残すことを推奨しています。

ご使用のLeckey製品の安全性に疑問が生じた場合や部品に不具合が生じた場合は、製品の使用を中止し、速やかに当社のカスタマーケアチームまたは担当の販売店に連絡してください。

セクション 13: 製品の修理

Leckey 製品の修理はすべて、製品の使用に関するトレーニングを受けた技術的能力のある人物が行う必要があります。

海外からの修理依頼は適切な Leckey 代理店に転送され、担当代理店がお客様のご要望にお応えいたします。

Leckey の代理店に関する詳細は、当社のウェブサイトを参照してください：www.leckey.com

セクション 14:

技術情報—寸法

シートコアとシート					
	スモール	ミディアム	ラージ	ミディアム ロング	ラージ ロング
座面の深さ (mm)	170*~325	275~390	350~475	325~440	400~525
最大シート幅 (ヒップガイドなし) (mm)	275	325	415	325	415
最大シート幅 (コントアシート) (mm)	250	300	400	300	400
分割シートの大腿部幅 (mm)		90~125	110~160	90~125	110~160
耐荷重 (kg) **	35	50	70	50	70

バックサポート					
	スモール	ミディアム	ラージ		
背もたれの高さ (mm)	360~470	390~520	500~650		
コントアシートの背もたれの高さ (mm)	370~480	400~530	475~625		
ラテラルの幅 (mm)	130~230	200~300	225~350		
ヒップガイドの幅 (mm)	165~230	200~260	250~350		
バックサポートの角度 (度)	+10~-25	+10~-25	+10~-25		
耐荷重 (kg) **	35	50	70		

フットサポート			
	スモール	ミディアム	ラージ
基本/分割シートにおける下肢長 (mm)	185~285	280~450	290~510
コントォアシートにおける下肢長 (mm)	185~285	290~460	300~520
最大背屈(度)	+/- 10	+/- 10	+/- 10
最大底屈(度)	+/- 10	+/- 10	+/- 10

シャシー						
	スモール	ミディアム 屋内ガス式	ミディアム 屋内油 圧式	ミディアム 屋内/屋外	ラージ 油圧式	ラージ電動
フットプリントの幅 (mm)	535	690	690	740	800	800
フットプリントの長さ (mm)	635	840	840	880	770/850***	770
ティルト幅(度)	-10~30	-10~25	-10~25	-10~25	-10~30	-10~30
床からシートまで-最小	270	340	325	380	460	460
床からシートまで-最大	650	655	615	670	640	640
耐荷重 (kg) **	35	50	50	50	70	70

*170mm~220mmのシート奥行にはスパーサーオプションが必要

**システムの使用者の最大重量はシート、シャシー、およびバックサポートの耐荷重よりも少ないことが必要

*** フットペダルを含む

技術仕様：

機能	項目	値
メーカーとモデル	アクチュエータ	LINAK 281209-01
	バッテリー	LINAK BA18021-00
	ハンドコントローラ	LINAK HB41000-00004
	バッテリー充電器	LINAKバッテリー充電器CH01。この付属のバッテリー充電器のみを使用すること
シート上下動操作	デューティ比	最大10%、または2分継続後に18分休止
	アクチュエータ推力	プッシュ 3500N、プル 2000N
	アクチュエータ動作速度	全負荷時 4.7mm/秒
	騒音レベル	48dB (A)
環境	IP規格	IP51 (非防水、湿らせた布による清掃のみ可能)
	操作	+5°C~40°C 湿度範囲20%~80%、結露のないこと
	運搬と保管	-10°C~50°C 湿度範囲20%~80%、結露のないこと
		保管庫から出した器機は2時間程度室温になじませること
	標高	最大3000m
電気関連	アクチュエータ動作電圧	24V
	アクチュエータ動作電流	最大3.9A
	充電器入力	100~240VAC、50/60Hz
	充電器出力	27.6VDC ± 2%
	充電電流	最大500mA
	充電器の充電状態表示	緑色LED – 主電源 黄色LED – 充電中、バッテリー満充電時に緑に変化
認証	EMC	IEC60601-1-2:2014 (家庭で使用する場合)
	電気保安	IEC60601-1:2005/A1:2012

記号表

記号	意味
	医療機器
	使用説明を参照
	CEマーク
	警告
	製造元
	シリアルナンバー
	商品番号
	耐荷重
	製造日
	ゴム不使用
	機器固有識別子
	衝突試験済み
	洗濯機 – 水温60°C
	乾燥器 – 低温
	アイロン不可
	漂白不可

セクション 15: シーティングシステムの開 梱および組み立て方法

部品の確認

レッキー ビーミーシーティングシステムの購入時には、すべての部品がポリ袋に入れられ、それぞれに明確なラベルが添付されています。箱から注意深くすべてを取り出し、注文した部品がすべてそろっていることを確認します。

部品によっては、購入したシートをベースに取り付ける前に組み立てることが必要となるものがあります。シートをモビリティベースに取り付ける場合は、まずモビリティベースにインターフェイスプレートを取り付けてください。特定のベースに対するインターフェイスの取り付け方法は、インターフェイスプレートに添付されています。すべての部品を確認したら、ビーミーシーティングシステムを組み立ててベースに取り付ける作業を開始できます。

工具

一部の調節に必要なマルチツールや長い柄のついた六角レンチが製品に添付されています。



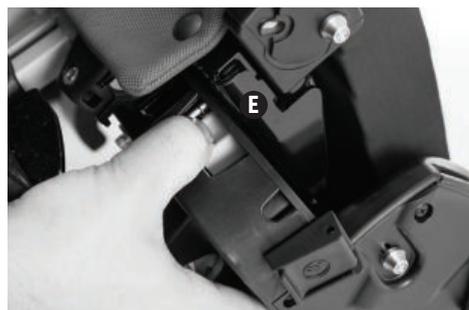
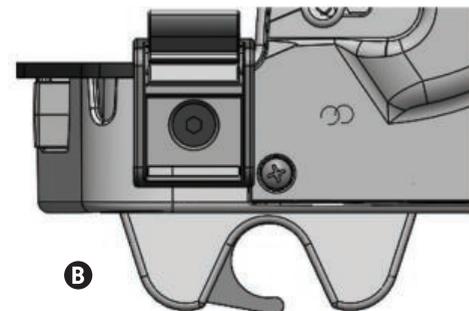
安全第一 ポリ袋はお子さまの手の届かないところに置いてください。

セクション 15.1: シャシーからのシーティング ユニットの着脱

シャシーを最も高くセットして、シートベース取り付け時に腰を痛めないようにします。購入したシャシーの高さを調節する方法は、セクション9を参照してください。

シートベースを取り付ける前に、前部にあるロックラッチが解放されていることを確認します **A**。ロックラッチがロックされている場合 **B**、次の手順を実行してください。

シート前部の左右にあるグレーのロックラッチ解放ボタン **C** を見つけます。ボタンを同時にシート中央に向かって回し **D**、内側に押します **E**。ラッチが解放されると、カチッという音がします。



ロックラッチがロック状態にある画像

ロックラッチを開放したら、シートベースをシャシーに取り付けられます。両手でシートベースの両側を持ちます。シートベースの後ろ側には2つのフック**F**があり、これをシャシーのインターフェイスの後部パイプ**G**に合わせます。シートの前部を下方に回転させ**H**、ロックラッチがロックされるカチッという音がするまでしっかりと押し込みます。

シートコアの前後を引き上げて、しっかり固定されていることを確認します。



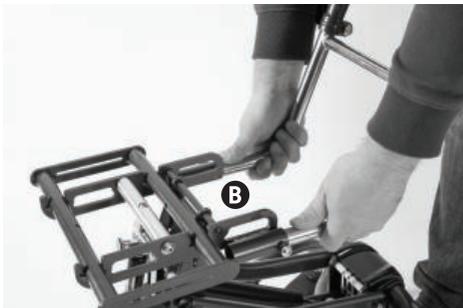
シートベースがしっかりと取り付けられていることを常に確認してください。

シートの取り付け時には、指を挟まないように注意してください。

シートを取り外すには、**C**、**D**、および**E**に示すロックラッチを見つけて開放します。その後、**H**、**G**、**F**に従って、取り付け時の手順を逆に行います。

セクション 15.2: 伸長可能なプッシュハンドル の着脱(スモールお よびミディアムの高ー低シ ャシーのみ)

このプッシュハンドルは、次に示す通り、下部にある2本のパイプを受け側のパイプに差し込む形で高ー低 シャシーに取り付けられています。プッシュハンドルにはセーフティポッピングプラグ **A** が付いており、下部パイプを差し込む際にはこれを押し込みます。受け側のパイプの反対側からポッピングプラグが出てくるまでパイプを差し込みます **B**。ロックボルト **C** を締めて、ハンドルを固定します。



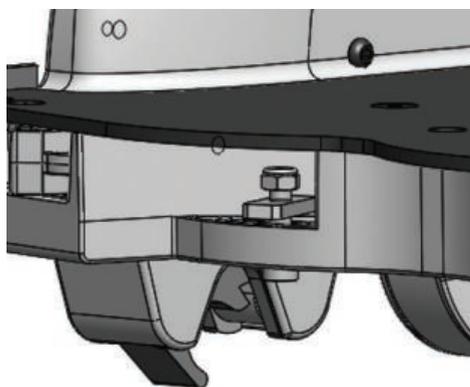
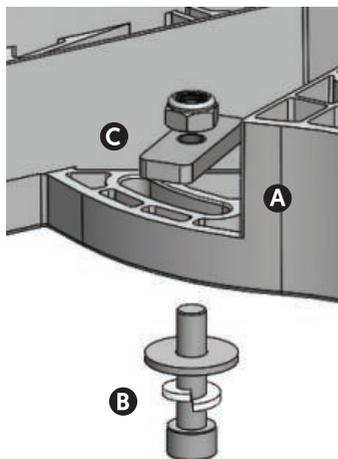
ハンドルバーを取り外すには、手順 **C** を逆に行い、さらにセーフティポッピングプラグを押し込み **D**、ハンドルバーのパイプを下部のパイプから引き抜きます。



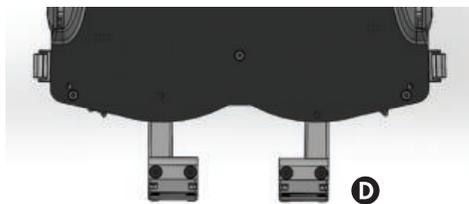
ノブがしっかり締まっていることを定期的に確認してください。これは、製品を起伏や傾斜のある通路で使用する場合には特に重要です。

セクション 15.3: 大腿部のバーの着脱

まず、この部品をシートベース下部前方にある2つのカーブしたスロットに差し込んで固定します **A**。割り座金 **B** が大きい平座金とボルトの頭の間に入るようにしてください。ロックプレート **C** を台座とナットの間に入れます。ナットを締めて、ボルトの終端がナットの終端と同じレベルになるようにします。ロックプレートはボルトを中心に台座とナットの間を自在に動くはず。ロックプレートの短辺が前になるように向きを整えます。



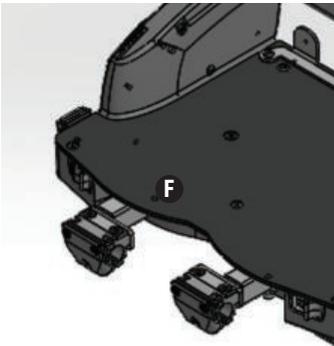
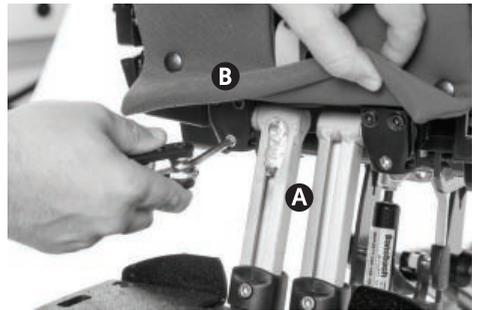
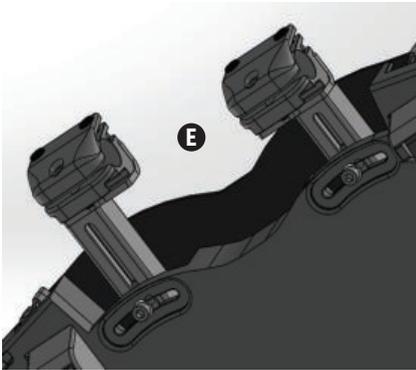
大腿部のバーの組立部品には左右があります。部品の平らな面がシートの外側 **D** に来るようにしてください。



ロックプレートが内部に収まるようにして、大腿部のバーをシートベースの穴に差し込みます **E**。皿ビスをシートベースのカバープレートに差し込み **F**、付属のナットを下から締めて台座のくぼみに収めます。もう一方も同じようにします。

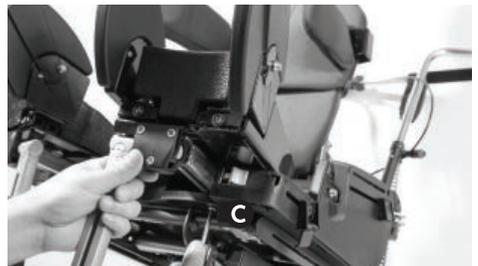
セクション 15.4: レッグシステムの着脱

上部レッグシステム **A** を取り付ける前に、取付金具 **B** を緩めてください。次に、上部レッグシステムの円形のボスを内側の面から取付金具に差し込み、六角レンチで取付金具 **B** を締めます。



大腿部のバーを取り外すには、この手順を逆に行います。

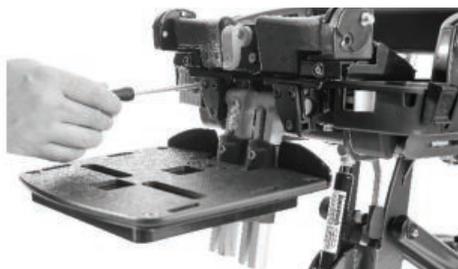
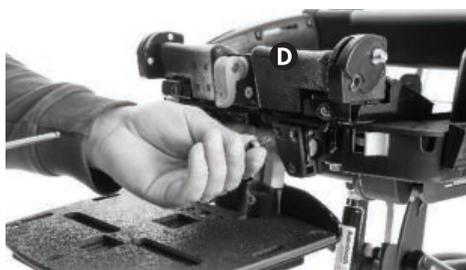
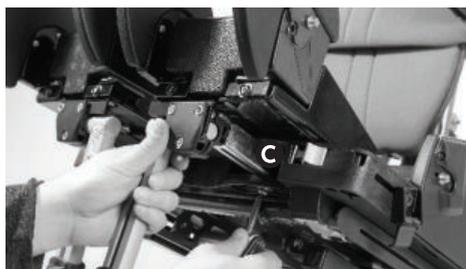
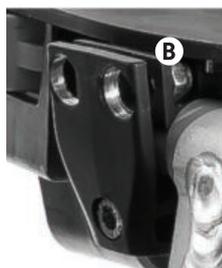
上部レッグシステムを差し込めるように、大腿部のバーの位置を調整することが必要となる場合があります。その場合、シートベース下部にあるボルト **C** を緩めて、適切な位置に動かします。設定によっては、セクション16.5「ベアシック、分割、コントオアシットの着脱」に示す通りにシートプレートを取り外す必要がある場合があります。



上部レッグシステムを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.5: ベーシック、分割、コントオ アシート部品の着脱

ベーシック、分割、コントオアシートの前部シートプレートはシートベースの受けに固定されています。まず、シートプレート前部にある下向きの突起 **A**、および大腿部のバーの端にある受けの上部スロット **B** を見つけます。両方の2つの穴が揃うように、突起を左右の受けに差し込みます。受けの位置が正しくなるように、大腿部のバーの位置を調整することが必要となる場合があります。その場合、シートベース下部にあるボルト **C** を緩めて、適切な位置に動かします。シートプレートの突起がはまったら、4つのボルト **D** を六角レンチで締めます。



シートプレートを取り外すには、この手順を逆に行います。

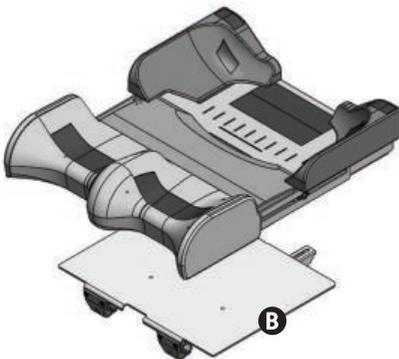
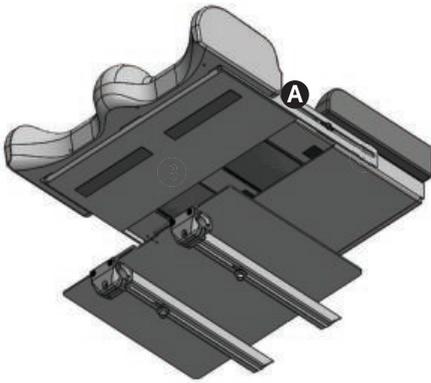
セクション 15.6: コントオアシートの着脱

コントオアクッション部品はコントオアクッション部品の下 **A** とシートプレート上面 **B** にあるマジックテープでシートプレートに固定されています。

マジックテープと前部を揃える画像が必要。

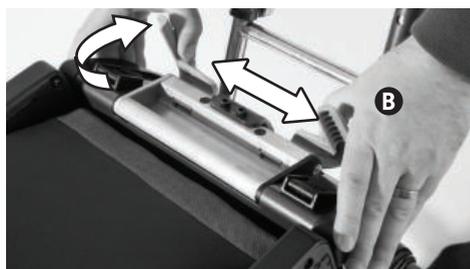
コントオアシートをシートベースに取り付けるには、シートベースのプレートの前部とコントオアシートのフォームの前部を揃えます。マジックテープがくっつくように押さえます。

コントオアシートを取り外すには、この手順を逆に行います。



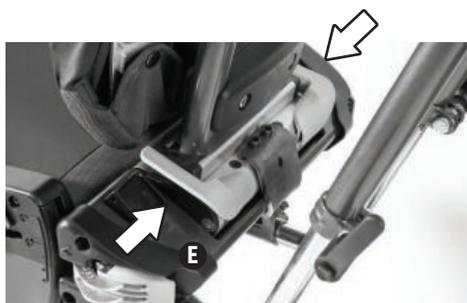
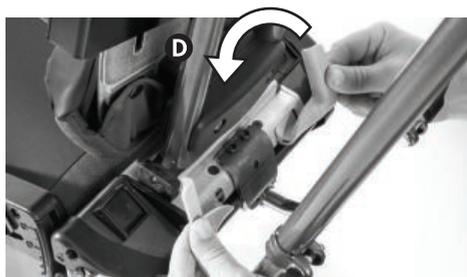
セクション 15.7: バックサポートの着脱

バックサポートを取り付けるには、シートベースの後ろにあるバックサポートの受け **A** を見つけます。シートベースの後ろにある受けのロックレバー **B** を外側に向かって水平方向に引いたあとに上方に回して、解放します。



バックサポートのベース **C** を受けに入れて、一番奥まで入っていることを確認します。レバーを下向きに回し **D**、内側に押し込んで **E**、バックサポートを固定します。

バックサポートを引き上げたり前後に動かして、しっかり固定されていることを確認します。



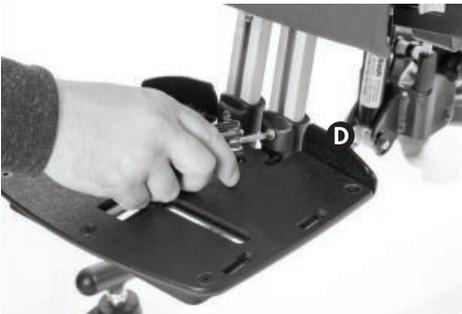
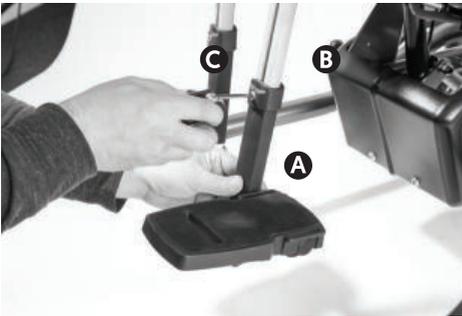
バックサポートを取り外すには、この手順を逆に行います。



シートベースがしっかりと取り付けられていることを常に確認してください。

セクション 15.8: フットサポートの着脱

フットサポートを取り付けるには、下部レッグシステムにあるロックプレート **A** の向きを短辺が前になるようにします。下部レッグシステムを上部レッグシステムの端にかぶせるようにはめます **B**。この時、ロックプレートが上部レッグシステムの突出部分の内部に収まるようにします。ボルトと六角レンチで固定します **C**。分離型のフットサポートは個別に取り付けられますが、一体型のフットサポートの場合は2本の下部レッグシステムを同時に上部レッグシステムに取り付ける必要があります **D**。



フットサポートを取り外すには、この手順を逆に行います。



フットサポートがしっかりと取り付けられていることを常に確認してください。

セクション 15.9: アームレストの着脱

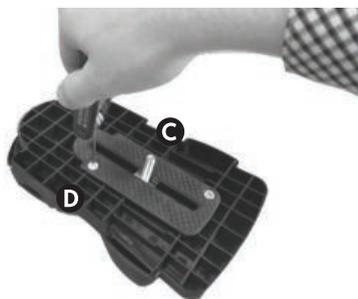
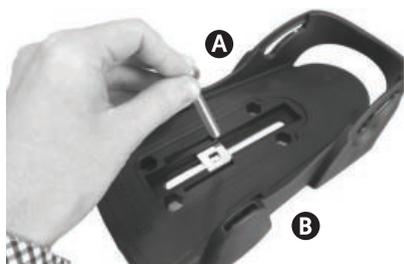
アームレストを取り付けるには、シートベースの側面にあるスロットを見つけ **A**、アームレストの向きを調節用カムレバーが外側に来るようにします **B**。アームレストの軸をスロットに差し込み、下方に押し込みます **C**。アームレストを上方向に引いて、しっかりとハマっていることを確認します。

アームレストを取り外すには、解放ボタンをシート前方にスライドさせ **D**、アームレストをスロットから引き抜きます **E**。



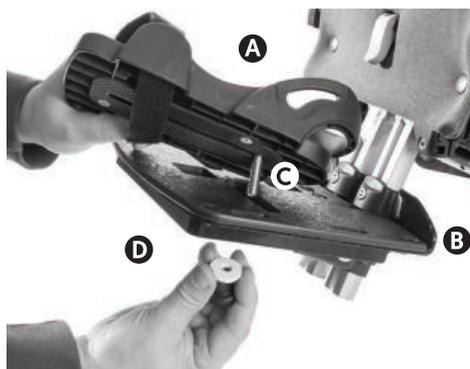
セクション 15.10: サンダルの着脱

取り付け用のボルト **A** を保持プレート **B** に通します。ゴムキャップ **C** をサンダルの表裏に置きます。付属の4本のねじで固定します **D**。取り付け用のボルトを外したり交換したりするには、この手順を逆に行います。



サンダルの取り付け用ボルトを取り外すには、この手順を逆に行います。

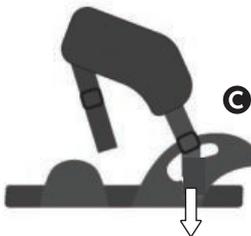
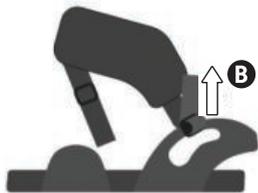
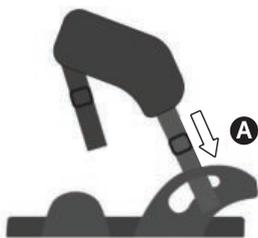
サンダルを取り付けるには **A**、フットサポートの上に置き **B**、取り付け用ボルト **C** をフットサポートのスロットに通します。ゴムの平座金、金属の平座金、ノブ **D** をフットサポート裏側の取り付け用ボルトに通して締めます。



サンダルを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.11: 足首ストラップの着脱

足首ストラップを取り付けるには、サンダル側面のスロットにベルトを通します **A**。ベルトを留め具の下から差し込み、さらに上に通します **B**。最後に、留め具の下側に再度通してベルトを固定します **C**。ベルトを適当な長さに切り揃えます。



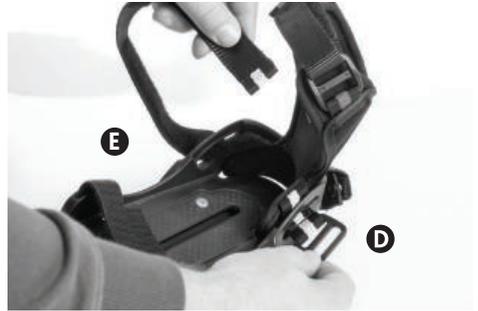
足首ストラップを取り外すには、この手順を逆に行います。

足首ストラップはシングルフットプレートや2本独立フットプレートにも取り付けられます。スロットにベルトを通し、足首ストラップに付属しているトライガイドを使用して固定します。



セクション 15.12: アンクルラップの着脱

アンクルラップを取り付けるには、アンクルラップの留め具の上側 **A** と下側 **B** をサンダルの後部アーチの上下に通し、スナップボタンで留めます **C**。



アンクルラップを取り外すには、この手順を逆に行います。

白黒のベルトについているトライグライド **D** をサンダルの側面にあるスロットに通します。白黒のマジックテープをサンダルの反対側のスロットに通します **E**。ベルトの端をトライグライドに通し、折り返してマジックテープをとめて固定します **F**。

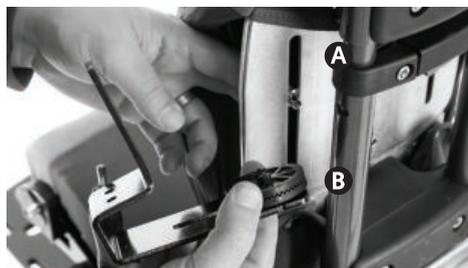
セクション 15.13: 足部ブーツの着脱

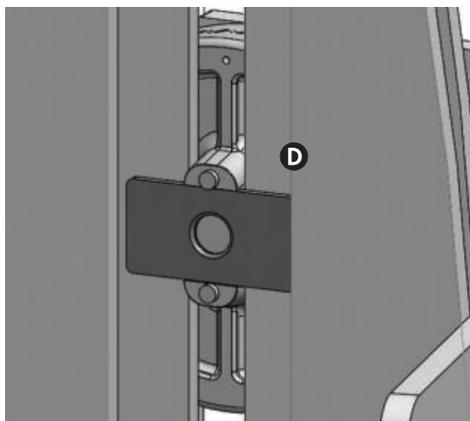
足部ブーツを取り付けるには、一体型フットプレートの側面にあるスロットにベルトを通し、付属のトライガイドで固定します。



セクション 15.14: ラテラル取付金具の着脱—ベーシックバックサポート

ベーシックバックサポートにラテラル取付金具を取り付けるには、Tナット **A** をバックサポートプレートの縦のスロットに前方から差し込みます。バックサポートクッションが付いている場合、引っ張ってよけることができます。ラジアルクランプの2つ面 (ギザギザの歯が付いた円形の部品) をかみ合わせ **B**、取付金具のスロットに突起を入れます。ラジアルクランプの反対側の突起をバックサポートのスロットに入れます。この時、ラジアルクランプとプレートの表面が同じレベルになりますようにします **C**。Tナットがバックサポート前面にあるラジアルクランプの2つの表面の間 **D** にあることを確認します。





ボルトに割り座金を入れ、さらに平座金を入れてラジアルクランプの穴に差し込み **E**、T ナットのねじ山にはめます。六角レンチで固定します。



ラテラル取付金具を取り外すには、この手順を逆に行います。

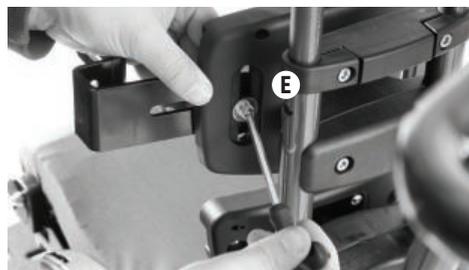
セクション 15.15: ラテラル取付金具の着 脱—モデレートバックサ ポートおよびコンプレック スバックサポート

モデレートバックサポートおよびコンプレックスバックサポートにラテラル取付金具を取り付けるには、Tナット **A** をラテラル取付金具のスロットに差し込みます。ラジアルクランプの2つ面をかみ合わせ、ラテラル取付金具の反対側にあるスロットにラジアルクランプの突起を入れます **B**。Tナットがラジアルクランプの2つの表面の間 **C** にあることを確認します。



ラジアルクランプを胸部台座前部のくぼみに入れます **D**。この時、ラジアルクランプの突

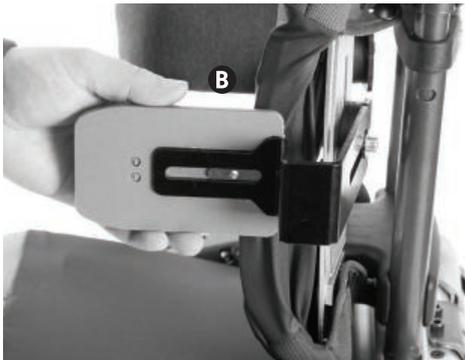
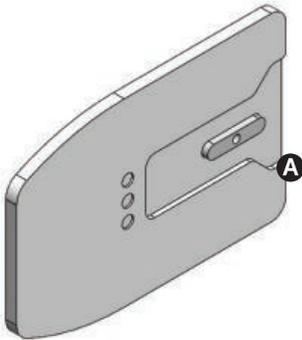
起が縦のスロットにはまっていることを確認します。バックサポートクッションが付いている場合、邪魔にならないようにどけることができます。ボルトに割り座金を入れ、さらに平座金を入れて胸部台座背面にある縦のスロットに差し込み **E**、Tナットのねじ山にはめます。六角レンチで固定します。



ラテラル取付金具を取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.16: スリムラテラルの着脱

スリムラテラルをラテラル取付金具に取り付けるには、まず機械加工したボスをスリムラテラルのプラスチックパッドにある対応するスロットに入れます **A**。この部品をラテラル取付金具の内側の面に配置します。この時、取付金具がプラスチックパッドのくぼみに収まり、機械加工されている部分がラテラルブラケットのスロットにはまっている状態にします **B**。



ボルトに割り座金を入れ、さらに平座金を入れて機械加工部分のねじ山付きの穴に差し込みます **C**。六角レンチで固定します。



スリムラテラルを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.17: コンプレックスラテラルの 着脱

コンプレックスラテラルをラテラル取付金具に取り付けるには、まずナットをラテラルのプラスチック製台座にあるくぼみに入れます **A**。この部品をラテラル取付金具の内側の面に配置します。この時、取付金具がプラスチック製台座のくぼみに収まっている状態にします **B**。



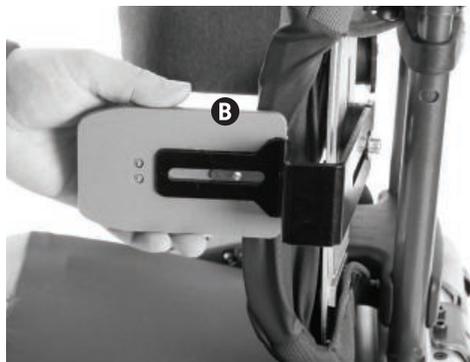
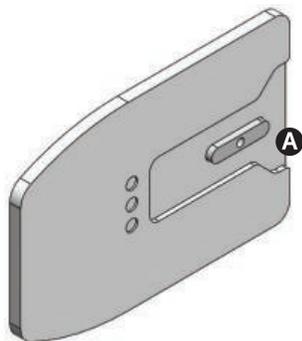
ボルトに割り座金を入れ、さらに平座金を入れて台座の穴に差し込み **C**、ナットのねじ山にはめます。六角レンチで固定します。



コンプレックスラテラルを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.18: フレキシブルラテラルの 着脱

フレキシブルラテラルの取り付けにはスリムラテラルと同じ金属部品が必要です。スリムラテラルをラテラル取付金具に取り付けるには、まず機械加工したボスをスリムラテラルのプラスチックパッドにある対応するスロットに入れます **A**。この部品をラテラル取付金具の内側の面に配置します。この時、取付金具がプラスチックパッドのくぼみに収まり、機械加工されている部分がラテラルブラケットのスロットにはまっている状態にします **B**。



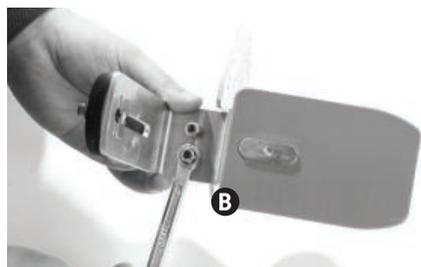
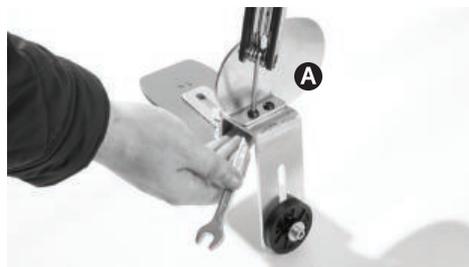
ボルトに割り座金を入れ、さらに平座金を入れて機械加工部分のねじ山付きの穴に差し込みます **C**。六角レンチで固定します。



スリムラテラルを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.19: 延長パッドの着脱

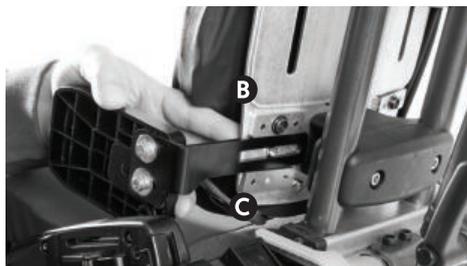
延長パッドを取り付けるには、延長パッドのプレートにある2つの穴をラテラル取付金具の対応する穴に合わせます **A**。この時、プレートの屈曲面はラテラルパッドの逆側に向けます。2本のボルトを穴に差し込み、六角レンチとスパナを使って逆側から2つのナットで固定します **B**。



延長パッドを取り外すには、この手順を逆に
行います。

セクション 15.20: ヒップガイドの着脱 (ベー シックバック)

ベーシックバックサポートにヒップガイドを取り付けるには、Tナット **A** をベーシックバックサポートのプレートの前面にある穴に入れます。この時、Tナットの長辺が長方形のプレートと並行になるようにします。取付金具をベーシックバックサポートのプレートの背面にあるくぼみに入れます **B**。バックサポートクッションが付いている場合、邪魔にならないようにどけることができます。

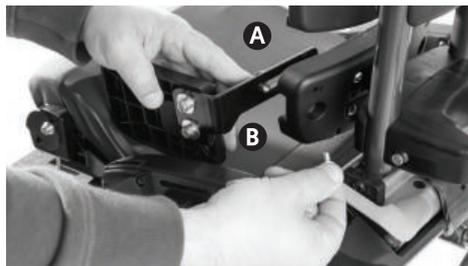


ボルトに割り座金を入れ、さらに平座金を入れてスロットに差し込み **C**、Tナットのねじ山にはめます。六角レンチで固定します。

ヒップサポートを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.21: ヒップガイドの着脱(モデル レートバックサポートおよ びコンプレックスバックサ ポート)

モデルレートバックサポートおよびコンプレックスバックサポートにヒップガイドを取り付けるには、Tナット **A** をヒップガイド取付金具の前面にあるスロットに差し込みます。取付金具を仙骨部の台座のプレートの前面にあるくぼみに入れます **B**。この時、Tナットの短辺がくぼみの上下の縁と並行になるようにします。バックサポートクッションが付いている場合、邪魔にならないようにどけることができます。

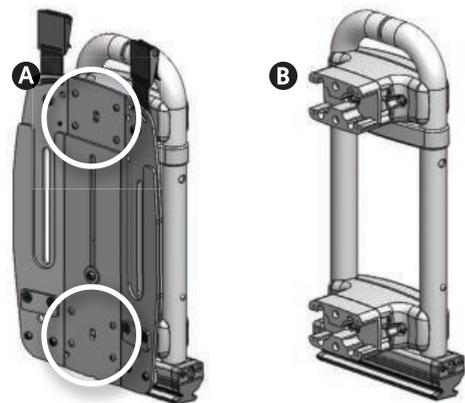


ボルトに割り座金を入れ、さらに平座金を入れて仙骨部の台座の背面にある穴に差し込み **C**、Tナットのねじ山にはめます。六角レンチで固定します。

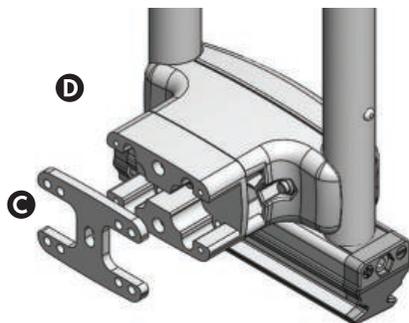
ヒップサポートを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.22: スモール ベーシックバック クサポートスペーサーの 着脱

スモール ベーシックバッククサポートスペーサーを取り付けるには、クッションカバーをバッククサポートから取り外して上下4本のねじを外し **A**、クランプからバックサポートプレートを分離します。4本の長いねじでスペーサーを上下のクランプに固定します **B**。



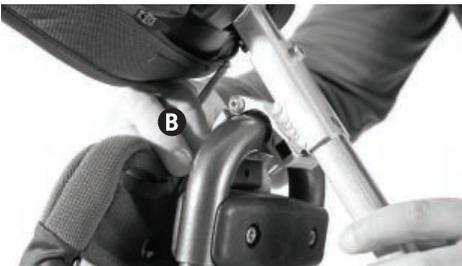
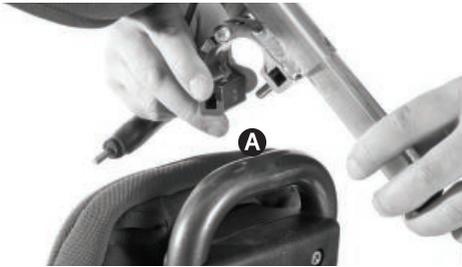
バックプレートスペーサー **C** を下のクランプ台座の前面に入れます **D**。バックサポートプレートを上下4本のねじで再度取り付けます **A**。



スモール ベーシックバックサポートを取り外すには、この手順を逆に行います。これはベーシックバックサポートのクランプも交換することが必要となる前に1度だけ行います。

セクション 15.23: ヘッドサポートの着脱

ヘッドサポートを取り付けるには、クランプのボルトを緩めて片側を外した解放状態にすることが必要です **A**。クランプをバックサポートの上部のパイプにかぶせ **B**、中央に配置します。



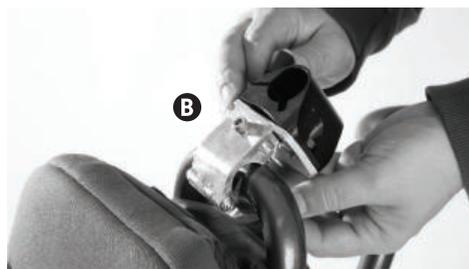
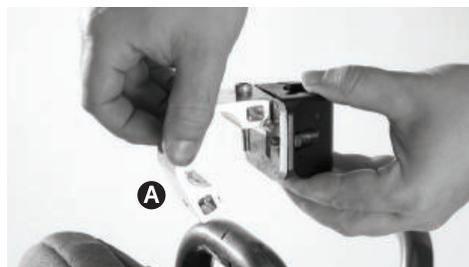
突出部分の表側にある穴からボルトの頭にアクセスし **C**、クランプのもう一方の穴からボルトの下端を入れてナットのねじ山にはめ、クランプを固定します。ナットは突出部分内に収まっており、穴に合わせて調節することが必要となる場合があります。六角レンチで締めます。



ヘッドサポートを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.24: ユニバーサルヘッドサポ ート 取付金具の着脱

ユニバーサルヘッドサポート 取付金具を
取り付けるには、クランプのボルトを緩めて
片側を外した解放状態にすることが必要です
A。クランプをバックサポートの上部のパイ
プにかぶせ**B**、中央に配置します。



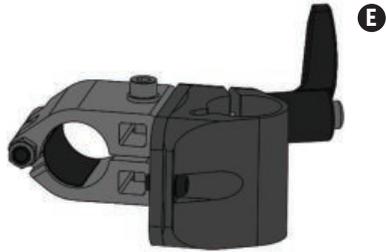
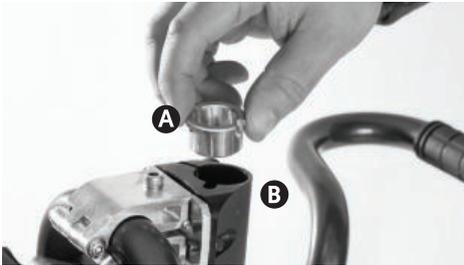
クランプのもう一方にある穴からボルトの下
端を入れて**C** ナットのねじ山にはめ、クラン
プを固定します。ナットは突出部分内に収ま
っており、穴に合わせて調節することが必要
となる場合があります。六角レンチで締めま
す。



ユニバーサルヘッドサポート 取付金具を取
り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.25: ユニバーサルヘッドサポ ート着脱

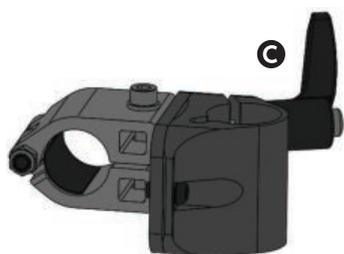
ユニバーサルヘッドサポートを取り付けるには、スリーブ **A** を受け側のブラケットに入れます **B**。軸 **C** をスリーブ **D** に差し込み、ハンドレバー **E** で固定します。



ユニバーサルヘッドサポートを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.26: ウィットマイヤーヘッドサ ポートの着脱

ウィットマイヤーヘッドサポートを取り付けるには、軸 **A** を受け側の取付金具に差し込みます **B**。ハンドレバーで固定します **C**。

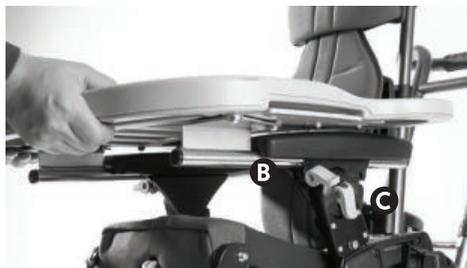


ウィットマイヤーヘッドサポートを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.27: トレイの着脱

トレイを挿入する前に、各アームレストの前面にあるカムレバー **A** が解放されていることを確認します。

トレイを取り付けるには、トレイの軸をアームレスト中央 **B** に挿入します。この時、トレイの軸が受け口の反対側 **C** に出ていることを確認してください。トレイの位置が決まったら、カムレバー **A** をしっかりと締めます。



トレイを挿入する際には常に、お子さまの手や腕が挟まれないように注意してください。

トレイを使って椅子を操作したり押したりすることは絶対にやめてください。

トレイには摂氏40度(華氏104度)を超える物を置かないでください。

トレイは使用者のみが使うことを想定しています。トレイにもたれたり、8kg(17.6lb)を超える物を置いたりしないでください。

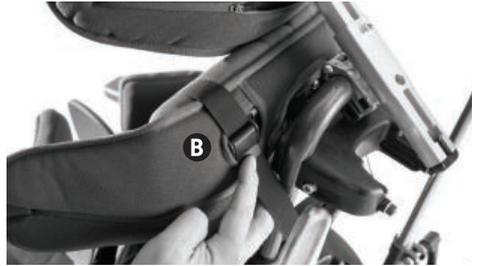
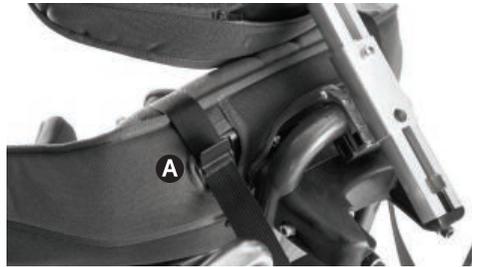


トレイ下の隙間に注意し、お子さまが金属製の取付金具とプラスチック製のトレイベースの隙間に指を挟まないようにしてください。

トレイを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.28: バタフライハーネスの着脱

バタフライハーネスを取り付けるには、まずバックサポートの背面上部にあるカムバックルを見つけます **A**。クッションの隙間から見えています。カムバックルにベルトを通し、クランプを下ろして固定します **B**。



下部の接続ポイントはシートベースの背面にあります **C**。シートコアの背面にあるカムバックルにベルトを通し、クランプを下ろして固定します **D**。



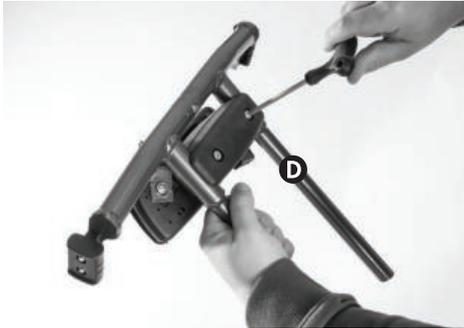
胸部ベルトを取り外すには、この手順を逆に
行います。

セクション 15.29: 雨よけの着脱

雨よけを取り付けるには、雨よけ用のバックサポートパイプを取り付ける必要があります。既存のバックサポートパイプを取り外すには、バックサポートの高さ調節クランプのボルトを緩め**A**、パイプを最大高まで引き上げます。パイプの両側面にあるポッピングプラグを押し**B**、バックサポートパイプを引き抜きます。



ショルダーパッドクランプのボルトを緩め **C**、スライドさせてバックサポートパイプから外します。雨よけ用のバックサポートパイプにショルダーパッドクランプを差し込んでボルトで固定します **D**。



バックサポートパイプの端をバックサポートの高さ調節クランプの受けに差し込みます。両側面にあるポッピングプラグを押し込んで **E**、バックサポートパイプを押し下げます。バックサポートの高さ調節クランプのボルトを締めます **F**。



雨よけを取り付けるには、コネクターを受けの上まで下し **G**、クリップを内側に回して **H**、はめこんで固定します。





セクション 15.30: パッド付トレイカバーの 着脱

パッド付トレイカバーを取り付けるには、まずトレイをシートから外します。マジックテープをはがしてパッド付カバー **A** をプラスチックトレイ **B** にかぶせます。マジックテープのストラップ **C** をトレイの裏側に渡して固定します。正しく装着すると、トレイの全面が覆われているはずです **D**。



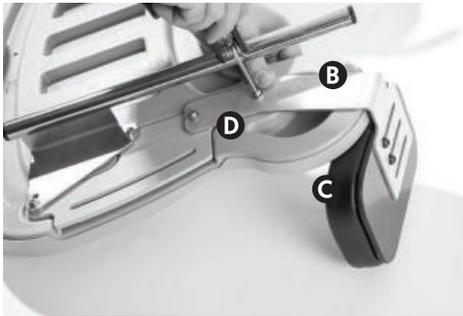
雨よけを取り外すには、この手順を逆に行います。



パッド付トレイカバーを取り外すには、この手順を逆に行います。

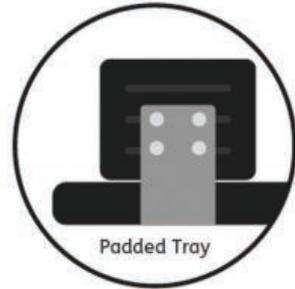
セクション 15.31: 肘ブロックの着脱

肘ブロックを取り付けるには、まずトレイをシートから外します。2つの座金とボルトを外します **A**。肘ブロックの取付金具 **B** をトレイの上面にパッドの端が来るように置き **C**、穴を合わせます。2つの座金とボルトを再度取り付け **D**、六角レンチで締めます。



肘ブロックを取り外すには、この手順を逆に行います。

肘ブロックは、通常のトレイにもパッド付トレイにも取り付けられます。

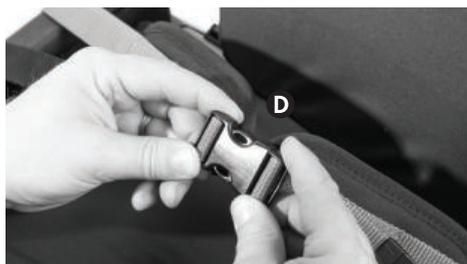


セクション 15.32: 4点式ベルトの取り付けと 取り外し

4点式ベルトを取り付けるには、グレーのベルトをシートの台座 **A** の上のスロットに通し、続いてカムバックル **B** に通します。黒のベルトを前方のカムバックル **C** に通します。ベルトをしっかり引いてカムバックルをとめます。ベルトのパッドがお子さまに向いていることを確認してください。



バックル **D** を前で留め、使用者を固定します。



常に骨盤ベルトを最初に取り付け、続いてその他の調整を行います。

4点式ベルトを外すには、この手順を逆にを行います。

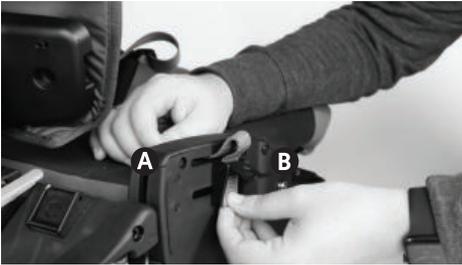


安全情報: 2点式ベルトを使用する際には、シートコアのスロットにベルトが通っていることを確認してください。

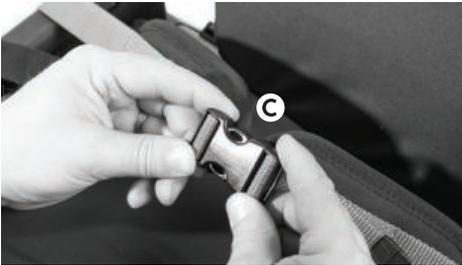


セクション 15.33: 2点式ベルトの取り付けと 取り外し

2点式ベルトを取り付けるには、グレーのベルトをシートの台座 **A** の上のスロットに通し、続いてカムバックル **B** に通します。ベルトをしっかりと引いてカムバックルをとめます。ベルトのパッドがお子さまに向いていることを確認してください。



バックル **C** を前で留め、使用者を固定します。



2点式ベルトを外すには、この手順を逆にを行います。



安全情報: 2点式ベルトを使用する際には、シートコアのスロットにベルトが通っていることを確認してください。

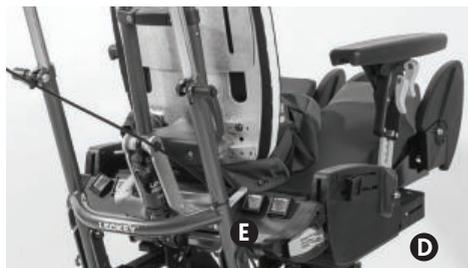


常に骨盤ベルトを最初に取り付け、続いてその他の調整を行います。

セクション 15.34: 骨盤クレイドルの着脱

骨盤クレイドルをシートベースのクッションに置きます **B**。骨盤クレイドルには正しい向きが表示されています。後部のマジックテープを胸部バックサポートクッション **C** の穴に取り付けます (モデルートバックサポートおよびコンプレックスバックサポート)。

黒いベルトをシート前方の両側にあるカムバックルに通し **D**、カムバックルを固定します。グレーのベルトをシート後部の両側にあるカムバックルに通し **E**、カムバックルを固定します。



骨盤クレイドルをベーシックバックサポートに取り付けるには、骨盤クレイドルの上部の位置に合わせて後部のマジックテープを切ります。 **A**、 **B**、 **D**、 **E** に示すように固定します。

バックル **F** を前で留め、使用者を固定します。



常に骨盤ベルトを最初に取り付け、続いてその他の調整を行います。

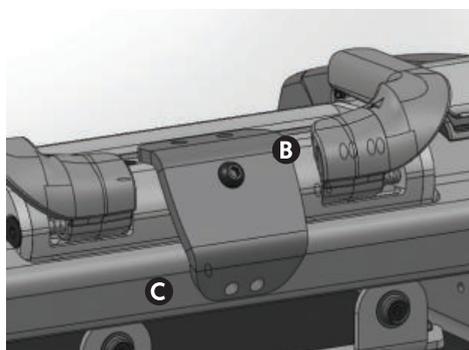
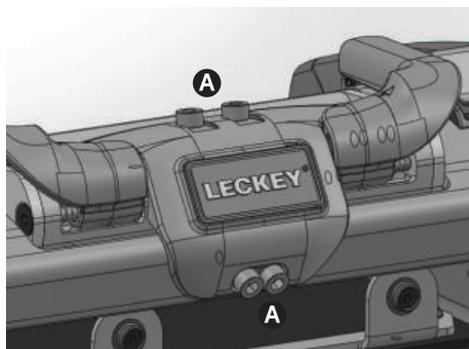


常に骨盤ハーネスまたは骨盤クレイドルを最初に締め、続いてその他のバックルやハーネスを締めます。お子さまがシート前方に滑ったりずれたりしないように、ハーネスを調節します。

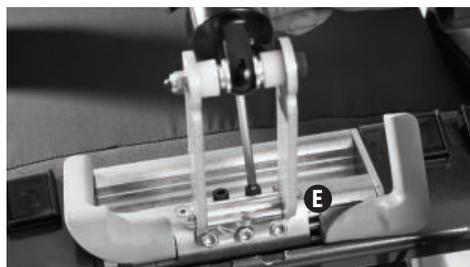
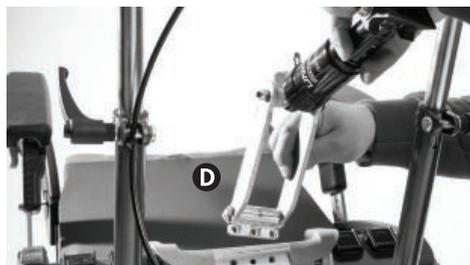
骨盤クレイドルを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.35: 可動式バックサポートの 着脱

可動式バックサポートを取り付けるには、まず固定式バックサポートプレートを取り外します。上部と背面に2つずつあるボルトを外し **A**、カバーを外します。中央のボルト **B** と固定式バックサポートプレート **C** を外します。



可動式バックサポートユニットのアルミ取付金具の穴 **D** をシートベースの穴に合わせます。付属の5本のボルトを締めます **E**。



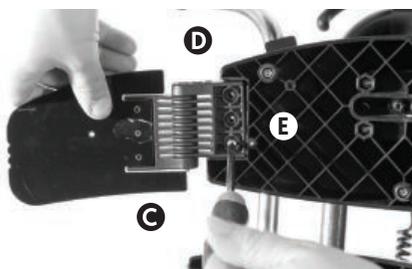
可動式バックサポートユニットを回転させてアルミ部分の穴を合わせ、付属の2本のボルトを締めます **F**。



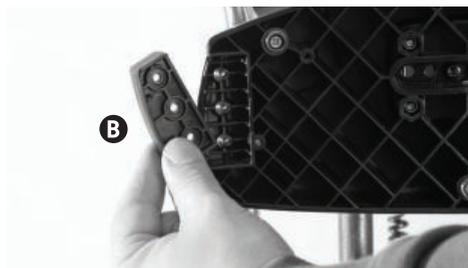
可動式バックサポートの組み立てや調整を行う際には、指を挟まないように注意してください。

セクション 15.36: ショルダーウィングアップ グレードの着脱(モデル トバックサポートのみ)

ショルダーウィングアップグレードを取り付けるには、まずショルダーブランク部品を取り外します。3本のねじで固定されているので **A** 六角レンチで抜きます。ショルダーブランク部品を取り外し **B**、ショルダーウィングアップグレード **C** に交換します。その際、ボルトの頭 **D** が上になるようにします。3本のねじと六角レンチで固定します **E**。締めすぎないでください。

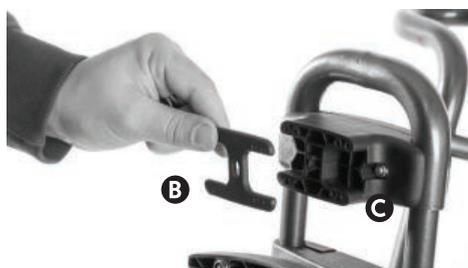
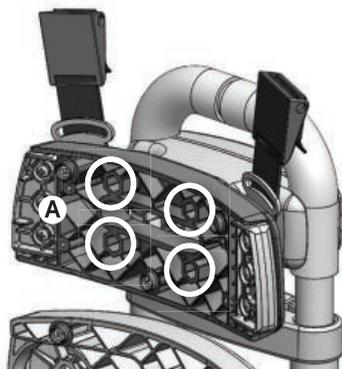


ショルダーウィングアップグレードを取り外すには、この手順を逆に行います。

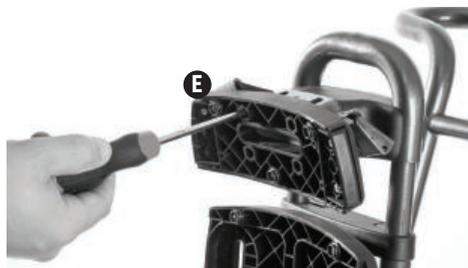
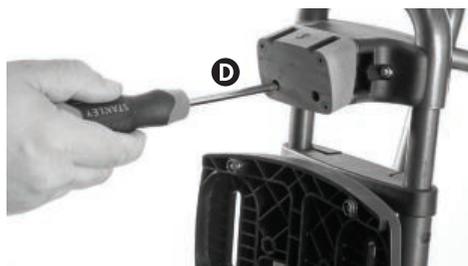


セクション 15.37: 傾斜付き肩部用スペーサー の着脱(モデレートバック サポートのみ)

傾斜付き肩部用スペーサーを取り付けるには、クッションカバーを肩部の台座から取り外して上下4本のねじを外し、クランプから台座を分離します **A**。バックプレートスペーサー **B** をクランプの台座の前面に入れます **C**。



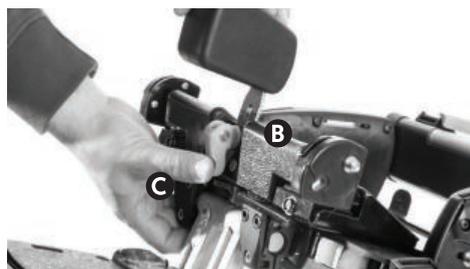
傾斜付き肩部用スペーサーを4本の長いねじで固定します **D**。ねじ **E** を締めて肩部の台座を傾斜付き肩部用スペーサーに取り付けます。



同じ部品を使ってこの操作を元に戻すことはしないでください。スペーサーを取り外す場合は、新しいベーシックバックサポートクランプが必要です。

セクション 15.38: ポメルの着脱

ポメルはベーシックシートにのみ取り付けられています。ポメルを取り付けるには、シート前方のカムロック **A** を開き、ポメルの取付金具をシートクッションの開口部からシートの受け側のスロット **B** に差し込みます。固定されるように、しっかりとカムロック **C** を押し込みます。ポメルがシーティングエリアの外側にあるように、向きを正しく調整します。



取り付け部品が緩くなってきた場合は、カムレバー **A** を上げた状態で、中にあるねじを時計回りに締めます。

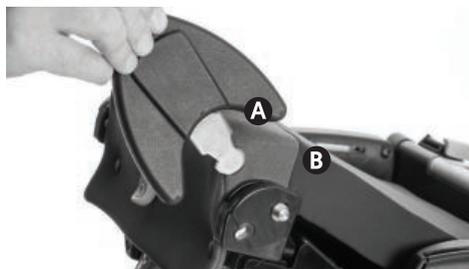


シートにお子さまを乗せる前には必ずポメルを外してください。

ポメルを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 15.39: 大腿部サポートの着脱

大腿部サポートを取り付けるには、シートの受け **B** に大腿部サポートのパイプ **A** を差し込み、下方向に押し込みます。大腿部サポートを上方向に引いて、しっかりとハマっていることを確認します。

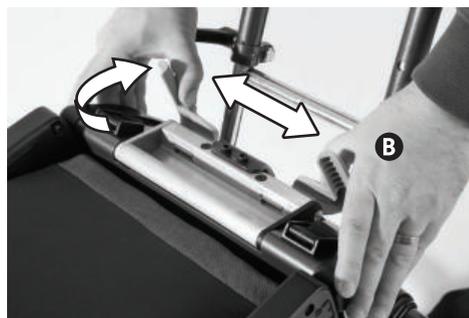


大腿部サポートを取り外すには、解除ボタンを斜め上にスライドさせ **C**、大腿部サポートをスロットから引き抜きます。



セクション 15.40: バックサポートの着脱

バックサポートを取り付けるには、シートベースの後ろにあるバックサポートの受け **A** を見つけます。シートベースの後ろにある受けのロックレバー **B** を外側に向かって水平方向に引いたあとに上方に回して、解放します。



バックサポートのベース **C** を受けに入れて、一番奥まで入っていることを確認します。レバーを下向きに回し **D**、内側に押し込んで **E**、バックサポートを固定します。

バックサポートを引き上げたり前後に動かして、しっかり固定されていることを確認します。

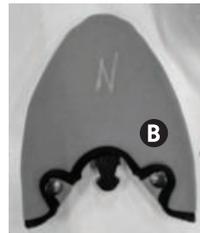
セクション 16: クッションのフィッティング

クッションのフィッティングは次の順序で行うことを推奨します。

1. 大腿部カバー (選択可能)
2. シートクッション
 - a. ベーシックシートクッション
 - b. 分割シートクッション
 - c. コントアシートクッション
3. バックサポートクッション
 - a. ベーシックバックサポート (カバー付きフォーム)
 - b. モデレートまたはコンプレックスバックサポート (3ピース: 仙骨、次に胸部、次に肩)
4. 骨盤ベルト (クレイドル、2点式または4点式)
5. ヒップパッド
6. 胸部ベルト
7. ラテラルカバー
8. ヘッドサポートカバー
9. フットクッション
10. ポメルカバー
11. 延長パッドカバー

セクション 16.1: 大腿部カバーの着脱

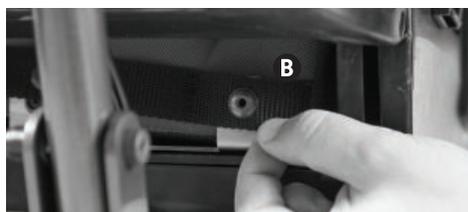
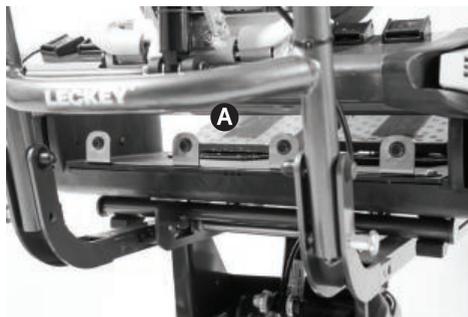
大腿部サポートのカバーを取り付けるには、大腿部サポートの端からカバーをかぶせませす **A**。金属製ステムの両側でスナップボタン **B** をとめて固定します。



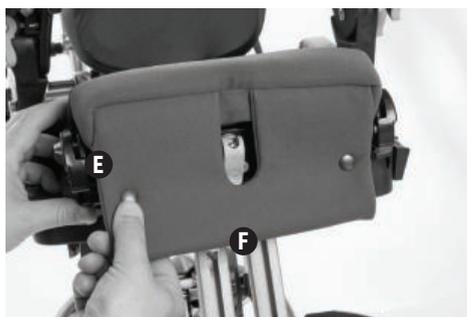
大腿部サポートを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 16.2: ベーシックシートクッション の着脱

ベーシックシートクッションをシートの後部に取り付けるには、シートベースの背面にある一連のスナップボタン付きタブ **A** を見つけます。シートクッションとベルトの間にスナップボタン付きタブを通し **B**、ボタンをとめて固定します **C**。



ベーシックシートクッションの前部を取り付けるには、クッションの前部をシートの前面に合わせ、マジックテープを圧着させます。シートベースの前部にあるスナップボタン **D** を見つけます。シートクッションの前垂れを下ろしてボタンをとめて固定します **E**。ポメルのレバーを操作するのに十分な隙間がシートクッションにあることを確認してください **F**。



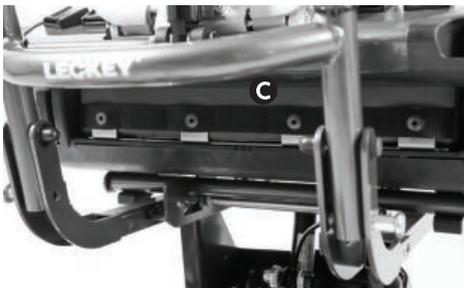
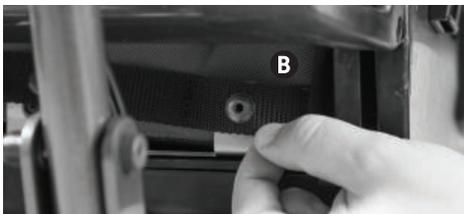
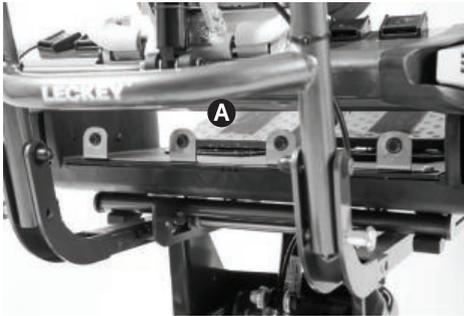
ベーシックシートクッションを取り外すには、この手順を逆に行います。



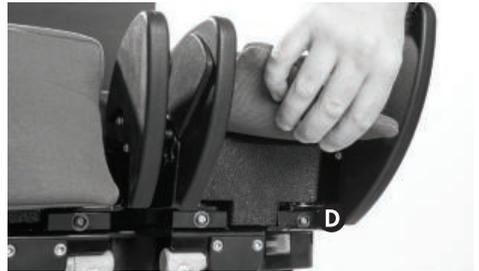
シートにお子さまを乗せる前には必ずシートベースクッションを確認してください。

セクション 16.3: 分割シートクッションの着脱

分割シートクッションをシートの後部に取り付けるには、シートベースの背面にある一連のスナップボタン付きタブ **A** を見つけます。シートクッションとベルトの間にスナップボタン付きタブを通し **B**、ボタンをとめて固定します **C**。



分割シートクッションの前部を取り付けるには、両方のクッションの前部をそれぞれのシートの前面に合わせ、マジックテープを圧着させます。シートベースの前部にあるスナップボタン **D** を見つけます。シートクッションの前垂れを下ろしてボタンをとめて固定します **E**。



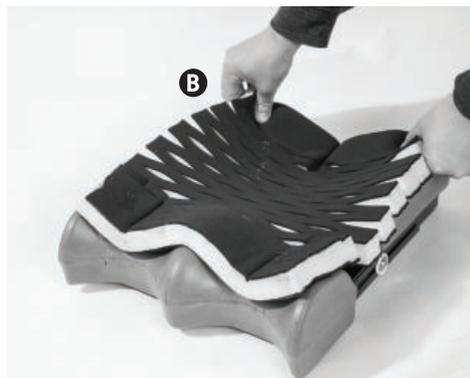
分割シートクッションを取り外すには、この手順を逆に行います。



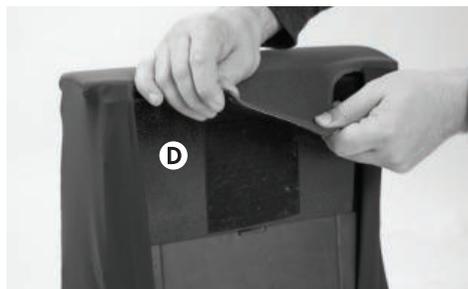
シートにお子さまを乗せる前には必ずシートベースクッションを確認してください。

セクション 16.4: コントオアシートクッション の着脱

コントオアシートクッションを取り付けるには、まずフォームから布カバーを外します。フォームの前端とシートベースの最前部の凹凸とを合わせ、マジックテープを圧着させて固定します **A**。フォームを伸ばしてフォームの後端とシートベースの後端を合わせ、マジックテープを圧着させて固定します **B**。フォームのスリットが横方向に走っていることを確認してください。



シートクッションカバーの前部をシートの前部にかぶせ **C**、後ろへ伸ばして後部を覆い、マジックテープを圧着させて固定します **D**。



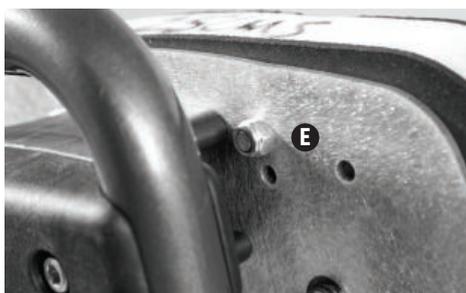
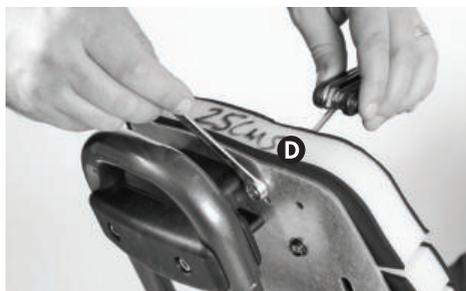
コントオアシートクッションを取り外すには、この手順を逆に行います。



シートにお子さまを乗せる前には必ずシートベースクッションを確認してください。

セクション 16.5: ベーシックバックサポート フォームの着脱

ベーシックバックサポートフォームを取り付けるには、フォームの上下の穴を見つけて**A**。ねじに座金を入れ**B**、フォームの穴とこれに対応するプレートの穴にねじを通します**C**。



ベーシックバックサポートスペーサーを取り外すには、この手順を逆に行います。

スパナを使い、4本のねじをナットで固定します**D**。この時、ねじの終端とナットの終端が同じレベルになるようにします**E**。

セクション 16.6: ベーシックバックサポート カバーの着脱

ベーシックバックサポートカバーを取り付けるには、カバー上部をバックサポートの上部にかぶせ **A**、スナップボタンをとめて固定します **B**。カバーの両側にはハーネスを取り付けるための開口部があります **C**。



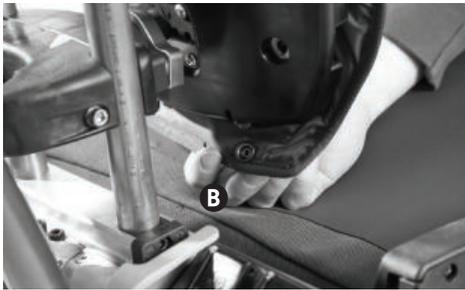
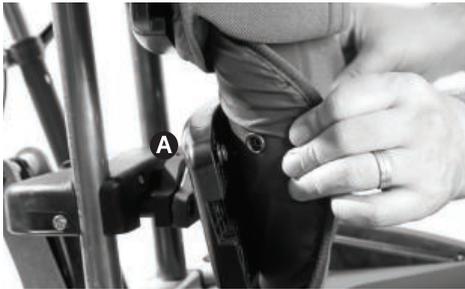
バックサポートの両側面で、フォームとプレート間に生地を挟みこみます **D**。カバー下部をバックサポートの下端にかぶせ、スナップボタンをとめて固定します **E**。



ベーシックバックサポートカバーを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 16.7: 仙骨部カバーの着脱

仙骨部カバーを取り付けるには、カバーを台座に合わせ、台座の側面 **A** と下部 **B** のスナップボタンで固定します。



仙骨部カバーを取り外すには、この手順を逆に行います。

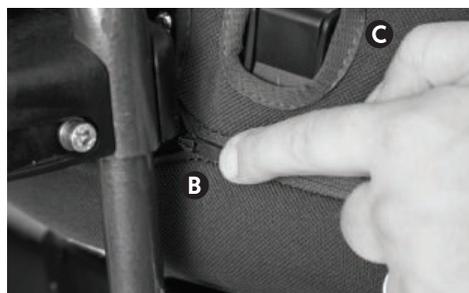
セクション 16.8: 胸部バックサポートサポ ートカバーの着脱

胸部カバーを取り付けるには、仙骨部カバーの上部を胸部カバーの下にある穴に差し込みます **A**。胸部カバーを台座に合わせて、上下にあるスナップボタン **B** で固定します。



セクション 16.9: 肩部分のカバーの着脱

肩部分のカバーを取り付けるには、胸部カバーの上部を肩部分のカバーの下にある穴に差し込みます **A**。肩部分のカバーを台座に合わせ、両端を包んでファスナーで固定します **B**。肩部分のカバーの後ろにある隙間がハーネスのコネクターの位置と合っているか、またはハーネスのコネクターを通すことができるかを確認します **C**。



肩部分のカバーを取り外すには、この手順を逆に行います。

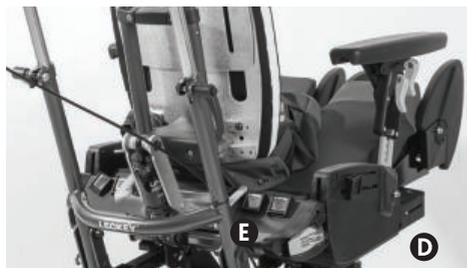
セクション 16.10: 骨盤クレイドルの着脱

クレイドルをシートベースのクッションに置きます **B**。骨盤クレイドルには正しい向きが表示されています。胸部バックサポートクッションの穴に後部のマジックテープを取り付けます **C** (モデルレートバックサポートおよびコンプレックスバックサポート)。

黒いベルトをシート前方の両側にあるカムバックルに通し **D**、カムバックルを固定します。グレーのベルトをシート後部の両側にあるカムバックルに通し **E**、カムバックルを固定します。

骨盤クレイドルをベーシックバックサポートに取り付ける際には、骨盤クレイドルの上部の位置に合わせて後部のマジックテープを切ることができます。 **A**、 **B**、 **D**、 **E** に示すように固定します。

バックル **F** を前で留め、使用者を固定します。



常に骨盤ベルトを最初に取り付け、続いてその他の調整を行います。



常に骨盤ハーネスまたは骨盤クレイドルを最初に締め、続いてその他のバックルやハーネスを締めます。お子さまがシート前方に滑ったりずれたりしないように、ハーネスを調節します。

骨盤クレイドルを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 16.11: ヒップパッドカバーの着 脱

ヒップパッドカバーをり付けるには、ファスナーを開き、ファスナーが外側に向くようにカバーを台座にかぶせます。ファスナーで固定します。内側についているラベルで、左右を識別できます。



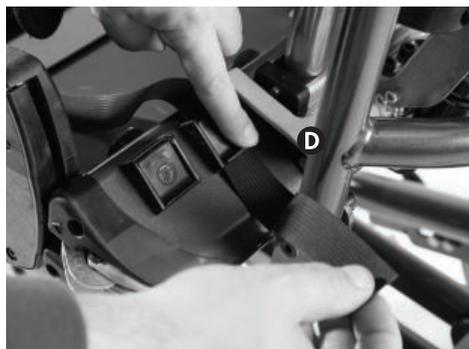
ヒップパッドカバーを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 16.12: 胸部ベルト/バタフライハ ーネスの着脱

バタフライハーネスを取り付けるには、まずバックサポートの背面上部にあるカムバックルを見つけます **A**。クッションの間隙から見えています。カムバックルにベルトを通し、クランプを下ろして固定します **B**。



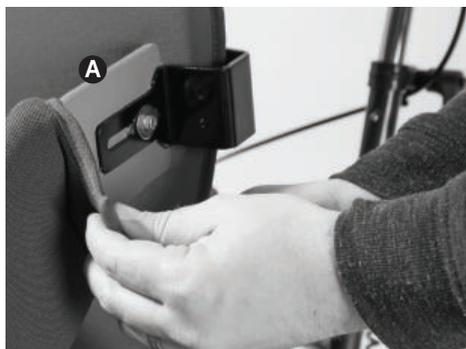
下部の接続ポイントはシートベースの背面にあります **C**。カムバックルにベルトを通し、クランプを下ろして固定します **D**。



胸部ベルトを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 16.13: ラテラルカバーの着脱— スリム

ラテラルカバーを取り付けるには、マジックテープをはがし、マジックテープが下を向くようにカバーをプラスチックパッド **A** にかぶせます。マジックテープで固定します **B**。



スリムラテラルカバーを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 16.14: ラテラルカバーの着脱— ヒンジ付き胸部全面ラテ ラルパッド

ラテラルカバーを取り付けるには、マジックテープをはがし、マジックテープが下を向き、小穴が上を向くようにカバーをプラスチック製台座 **A** にかぶせます。マジックテープで固定します **B**。



ヒンジ付き胸部全面ラテラルパッドのカバーを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 16.15: ラテラルカバーの着脱— フレキシブル胸部全面ラ テラルパッド

フレキシブルラテラルカバーを取り付けるには、マジックテープをはがし、マジックテープが下を向き黒いベルトが外側を向くようにカバーをプラスチックパッド **A** にかぶせます。マジックテープで固定します **B**。



フレキシブルラテラルカバーを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 16.16: ヘッドサポートカバーの 着脱

ヘッドサポートカバーを取り付けるには、ヘッドサポートカバーを台座の前部に合わせて両端をカバーで包み **A**、ファスナーで固定します **B**。ファスナーが下側の縁付近に来るようにカバーを合わせてください。



ヘッドサポートカバーを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 16.17: フットサポートカバーの 着脱

フットサポートカバーを取り付けるには、まずフットサポートに取り付けられている部品やステップをすべて取り外します。フットサポートカバーをフットサポート上面の後部に置きます **A**。カバーをフットサポートの上面に、カバーの立ち上がり部分がフットサポートの後部と側面に位置するように置きます。裏側をマジックテープで固定します **B**。



フットサポートカバーを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 16.18: ポメルカバーの着脱

ポメルカバーを取り付けるには、マジックテープをはがし **A**、カバーをプラスチックパッド **B** にかぶせます。この時、マジックテープを下にして、パッドとカバーの形状が合うように向き決めます。マジックテープで固定します **C**。

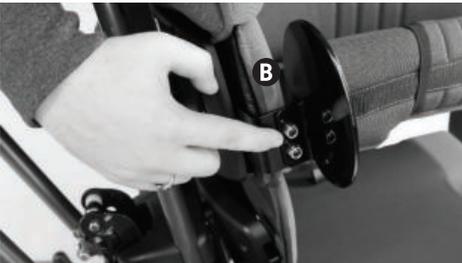


ポメルカバーを取り外すには、この手順を逆に行います。



セクション 16.19: 延長パッドカバーの着脱

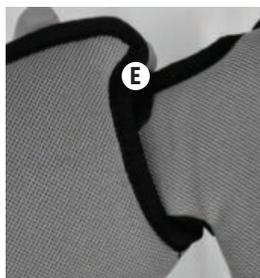
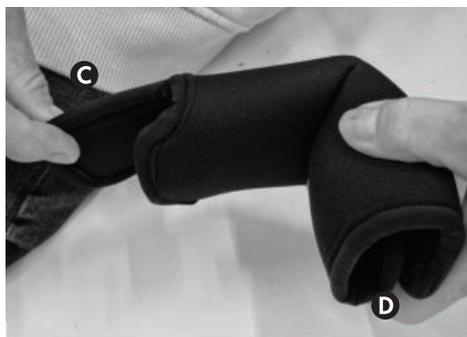
延長パッドカバーを取り付けるには、マジックテープをはがし **A**、プレート **B** にかぶせませす。この時、カバーのマジックテープを上にして、グレーの生地になっている面がシートの前方に向くようにします。マジックテープで固定し、出ている部分をラテラルカバーに差し込みます **C**。



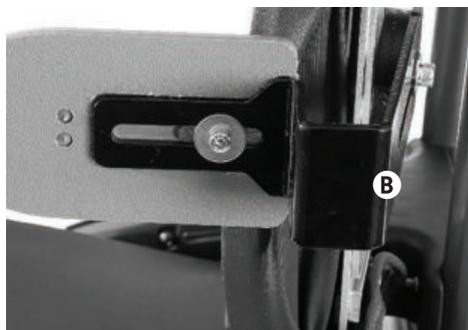
延長パッドカバーを取り外すには、この手順を逆に行います。

セクション 16.20: ラテラルバックサポートカ バーの着脱

ラテラルバックサポートカバーを取り付けるには、マジックテープをはがし **A**、プレート **B** にかぶせます。この時、カバーのマジックテープを下にして、出ている部分 **C** が外側になってラテラルパッドの方向に伸びているようにします。マジックテープで固定し **D**、出ている部分をラテラルカバーに差し込みます **E**。



ラテラルバックサポートカバーを取り外すには、この手順を逆に行います。



セクション 17: 姿勢管理のための臨床的 設定

この製品の臨床的設定は、製品の使用に関するトレーニングを受けた技術的臨床的能力のある人物が行うことが必要です。Leckeyでは、この製品の臨床的設定すべてを書面に記録して残すことを推奨しています。シートにお子さまを乗せる前に、バックサポートの高さ、シートの奥行、フットプレートの高さを設定します。これらは、お子さまがシートに乗っているときに微調整することができます。

セクション 17.1: ベーシックシートのシート 奥行の調節

ベーシックシートのシート奥行を調節するには、シートベース裏側の左右のボルト **A** を緩め、前後に動かして適切な位置にします。両方のボルトを締めて、位置を固定します。



セクション 17.2: 分割シートのシート奥行 と脚の角度 (内転と外転) の調節

分割シートのシート奥行と脚の角度を調節するには、シートベース裏側の左右のボルト **A** を緩め、それぞれのシートの脚部部品を個別に動かして適切な位置にします。シートの脚部部品は前後の移動、および15度の内転/外転を行えます。両方のボルトを締めて、位置を固定します。

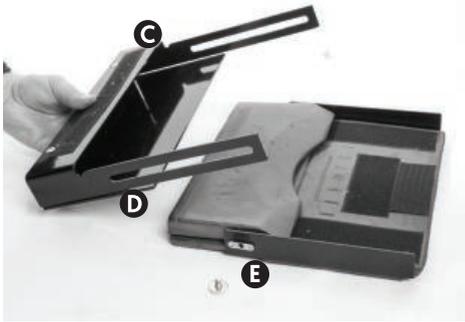


セクション 17.3: コントオアシートのシート 奥行の調節

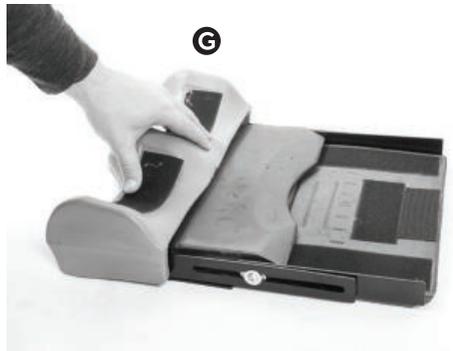
コントオアシートのシート奥行を調節するには、まずシートベースからコントオアシートクッションユニット **A** を取り外し、カバーとフォームを取り外します。プレートの両側にあるボルト **B** を緩め、前後に動かして適切な位置にします。ボルトを締めて、位置を固定します。



シート奥行を最も深くするには、前部を上
の図に示す向きにします。シート奥行を最も浅
くするには、シートの両側にあるボルト **B** を
緩め、前部を回転させて縁の短い方が上に来
るようにします **C**。前部を再度取り付け、スラ
イダー **D** とスロット **E** を両側でかみ合わせ
ます。シートの両側にボルトと座金を取り付
け、適切な位置に調節したら、ボルトを締めて
固定します。



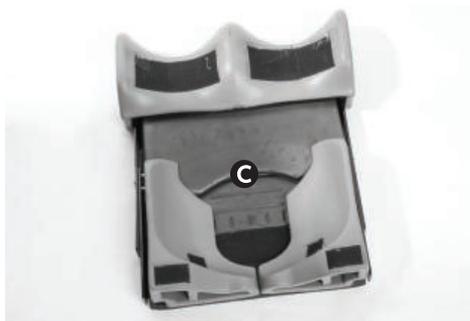
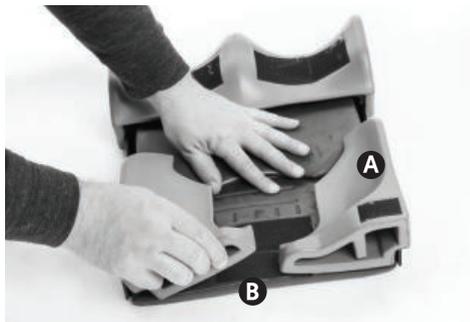
前部ベースのフォーム部品 **F** を再度、プレ
ートの内面前部に接するように置きます。前部
のコントォアフォーム部品 **G** をプレート
の前面に合わせて配置します。



コントォアシートのプレートが突き出ないよ
うにベースプレートの奥行を調節すること
もできます。シートプレートの奥行を調節す
るには、シートベース裏側の左右のボルトを緩
め、前後に動かして適切な位置にします。両方
のボルトを締めて、位置を固定します (18.1ま
たは18.2の写真を参照)。

セクション 17.4: コントアシートの座面の 幅の調節

コントアシートの座面の幅を調節するには、左右のヒップパッド **A** の位置をマジックテープ付きのベース **B** 上で変更します。ベースには位置や向きがわかりやすいように短い破線 **C** が付けられています。パッドの後辺とプレートの後辺を合わせます。



セクション 17.5: ベーシックシートと分割シートのヒップパッド幅の 調節 (ベーシックバックサポート)

ベーシックバックサポートのヒップパッド幅を調整するには、バックサポートクッションのスナップボタンを外して調節ボルト **A** を露出させます。ボルトを緩めて、適切な幅になるまで内側または外側に動かします。ボルトを締めて、位置を固定します。



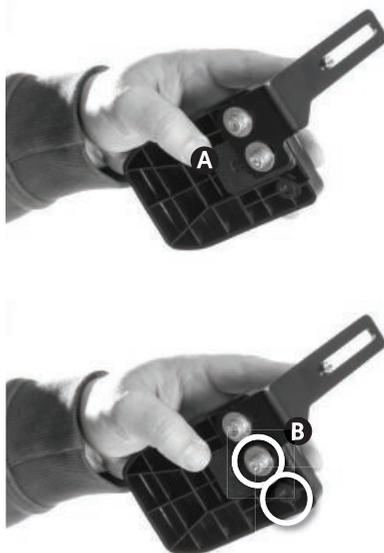
セクション 17.6: ベーシックシートと分割シートのヒップパッド幅の調節 (モデレートバックサポートおよびコンプレックスバックサポート)

モデレートバックサポートおよびコンプレックスバックサポートのヒップパッド幅を調整するには、台座背面の調節ボルト **A** を見つけます。ボルトを緩めて、適切な幅になるまで内側または外側に動かします。ボルトを締め、位置を固定します。



セクション 17.7: ヒップパッドの高さと角度の調節

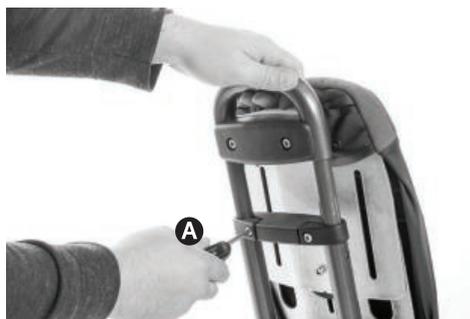
ヒップパッドの高さを調節するには、2本のボルト **A** を外して隣接する穴 **B** に移します。台座背面のくぼみにあったナットも、対応するくぼみに移動させます。ヒップパッドユニットは、左右を交換してさらに高くすることができます。



ヒップパッドの角度を調節するには、2本のボルト **A** を緩めて適切な角度にします。ボルトを締め、位置を固定します。

セクション 17.8: バックサポートの高さの 調節

バックサポートの高さを調節するには、バックサポートの高さ調節クランプのボルトを緩め **A**、バックサポートの伸縮パイプを上げ下げして適切な位置にします。最も高く設定してあるバックサポートを低くするには、パイプの両側にあるポッピングプラグ **B** を押してパイプを押し下げます。バックサポートの高さ調節クランプのボルト **A** を締めて固定します。



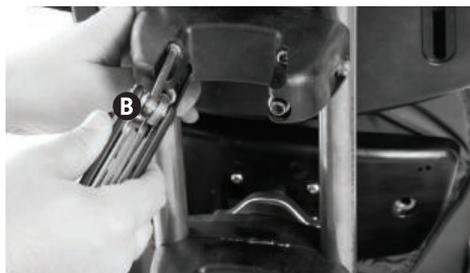
セクション 17.9: モデレートバックサポート およびコンプレックスバック サポートにおける個々の パッドの高さ調節

モデレートバックサポートおよびコンプレックスバックサポートのパッドには、ベーシッククランプとコンプレックスクランプの2つの選択肢があります。

ベーシッククランプの高さを調節するには、ボルトを緩め **A**、バックサポートの伸縮パイプでクランプを上げ下げして適切な位置にします。ボルトを締めて、位置を固定します。



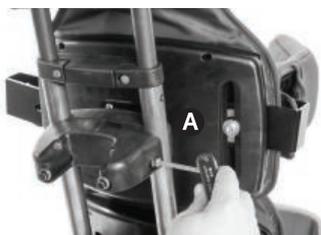
コンプレックスクランプの高さを調節するには、ボルトを緩め **B**、バックサポートの伸縮パイプでクランプを上げ下げして適切な位置にします。ボルトを締めて、位置を固定します。



セクション 17.10: 仙骨部の奥行の調節 (モ デレートバックサポートお よびコンプレックスバック サポート)

コンプレックスクランプはコンプレックスバックサポートの仙骨部、胸部、肩部と、モデレートバックサポートの仙骨部にあります。

コンプレックスクランプの奥行を調節するには、クランプの両側にあるボルト **A** を緩めます。バックサポート部分を前後に動かして適切な奥行に調節します **B**。ボルトを締めて、位置を固定します。

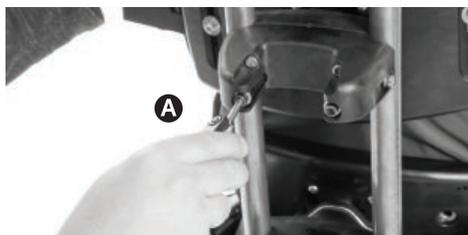


奥行の調節には、角度調節ボルトを18.11に示すように緩めることが必要となる場合があります。調節後は、両方のボルトセットを締めて固定します。

セクション 17.11: 仙骨部の角度の調節 (モ デレートバックサポートお よびコンプレックスバック サポート)

コンプレックスクランプはコンプレックスバックサポートの仙骨部、胸部、肩部と、モデレートバックサポートの仙骨部にあります。

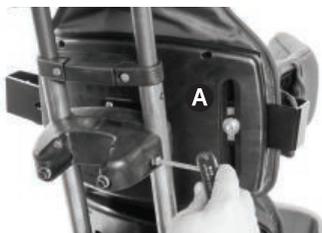
コンプレックスクランプの角度を調節するには、クランプのボルト **A** を緩めます。バックサポート部分をあらゆる方向に回転させて適切な角度に調節します。ボルトを締めて、位置を固定します。



セクション 17.12: バックサポート中央部の 奥行の調節 (コンプレック スバックサポートのみ)

コンプレックスクランプはコンプレックスバックサポートの仙骨部、胸部、肩部と、モデルレートバックサポートの仙骨部にあります。

コンプレックスクランプの奥行を調節するには、クランプの両側にあるボルト **A** を緩めます。バックサポート部分を前後に動かして適切な奥行に調節します **B**。ボルトを締めて、位置を固定します。

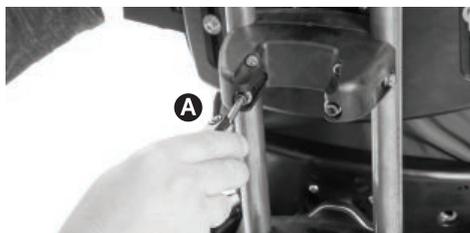


奥行の調節には、角度調節ボルトを18.11に示すように緩めることが必要となる場合があります。調節後は、両方のボルトセットを締めて固定します。

セクション 17.13: バックサポート中央部の 角度の調節 (コンプレック スバックサポートのみ)

コンプレックスクランプはコンプレックスバックサポートの仙骨部、胸部、肩部と、モデルレートバックサポートの仙骨部にあります。

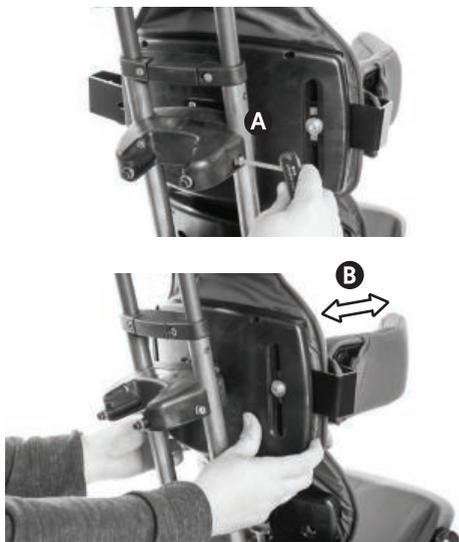
コンプレックスクランプの角度を調節するには、クランプのボルト **A** を緩めます。バックサポート部分をあらゆる方向に回転させて適切な角度に調節します。ボルトを締めて、位置を固定します。



セクション 17.14: 肩部の奥行の調節 (コンプレックスバックサポートのみ)

コンプレックスクランプはコンプレックスバックサポートの仙骨部、胸部、肩部と、モデレートバックサポートの仙骨部にあります。

コンプレックスクランプの奥行を調節するには、クランプの両側にあるボルト **A** を緩めます。バックサポート部分を前後に動かして適切な奥行に調節します **B**。ボルトを締めて、位置を固定します。



奥行の調節には、角度調節ボルトを18.11に示すように緩めることが必要となる場合があります。調節後は、両方のボルトセットを締めて固定します。

セクション 17.15: 肩部の角度の調節 (コンプレックスバックサポートのみ)

コンプレックスクランプはコンプレックスバックサポートの仙骨部、胸部、肩部と、モデレートバックサポートの仙骨部にあります。

コンプレックスクランプの角度を調節するには、クランプのボルト **A** を緩めます。バックサポート部分をあらゆる方向に回転させて適切な角度に調節します。ボルトを締めて、位置を固定します。



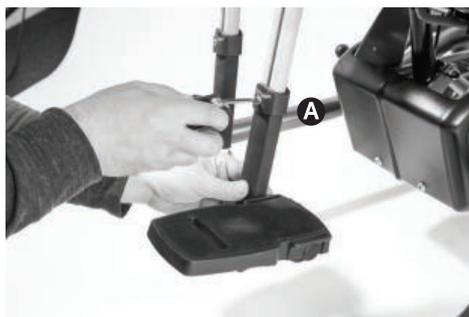
セクション 17.16: ショルダーウィングの角度 の調節 (モデレートバック サポートまたはコンプレッ クスバックサポートのみ)

ショルダーウィングの角度を調整するには、両側のカバーのファスナーを開いて上から調節ボルトにアクセスできるようにします。ボルトを緩めて **A**、適切な幅になるまでショルダーウィングを動かします。ボルトを締めて位置を固定し、カバーのファスナーを閉めます。



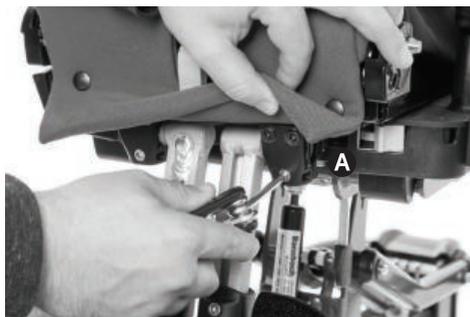
セクション 17.17: フットサポートの長さの 調節

フットサポートの高さを調節するには、ボルトを緩め **A**、フットサポートの高さを伸縮させて適切な位置にします。ボルトを締めて、位置を固定します。分離型のフットサポートは個別に高さを調節できます。一体型のフットサポートの調節には、両方のボルトを同時に緩めることが必要です。



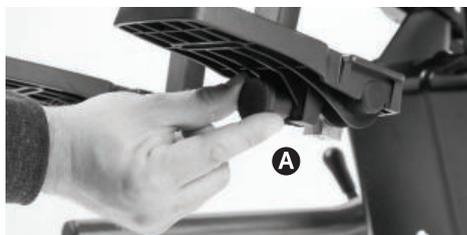
セクション 17.18: フットシステムの角度の調節 (膝の角度)

フットシステムの角度を調節するには、ボルトを緩め **A**、フットシステムを回転させて適切な位置にします。ボルトを締めて、位置を固定します。2本独立フットサポートは個別に角度を調節できます。一体型のフットサポートの調節には、両方のボルトを同時に緩めることが必要です。

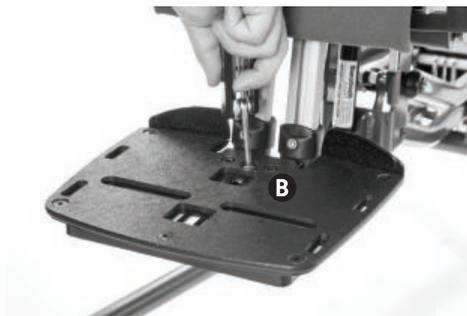


セクション 17.19: フットサポートの角度の 調節(背屈および底屈)

2本独立フットプレートの背屈および底屈に対応するためにフットサポートの角度を調整するには、適切な位置になるまでフットプレート裏側のハンドノブ **A** を締めたり緩めたりします。

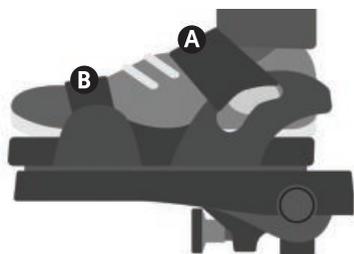


一体型フットプレートの背屈および底屈に対応するためにフットサポートの角度を調整するには、適切な位置になるまでフットプレート上面のボルト **B** を締めたり緩めたりします。



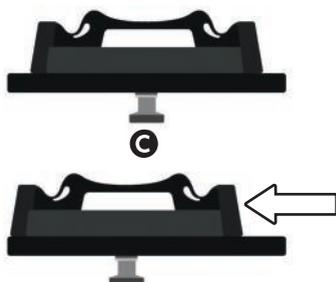
セクション 17.20: サンダルの調節

使用者の足をサンダルに固定するには、付属のマジックテープで足が動かないようにとめます。マジックテープは足の甲 **A** とつま先 **B** の上に来るようにします。前方のテープは、使用者の足のサイズに応じて、サンダルの両脇にある2つのスロットのうちの1つに通します。



お子さまがサンダルや軽い履物を履いている場合、ベルトが皮膚に不快感を与えていないことを確認してください。

フットプレートのサンダルの位置を調節するには、ノブ **C** を緩めて希望する位置に動かします。ノブを締めて、位置を固定します。



セクション 17.21: 足首ストラップの調節

足首ストラップを調節するには、足首まわりのマジックテープ **A** の位置を調節し、トライガイドに通しているストラップ **B** の長さを調節します。



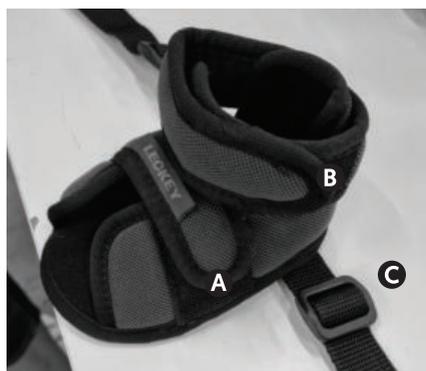
セクション 17.22: アングルラップの調節

アングルラップを調節するには、足の甲まわり **A** と足首まわり **B** のマジックテープの位置を調節します。



セクション 17.23: 足部ブーツの調節

足部ブーツを調節するには、足の甲まわり **A** と足首まわり **B** のマジックテープの位置を調節し、トライグライドに通しているストラップ **C** の長さを調節します。



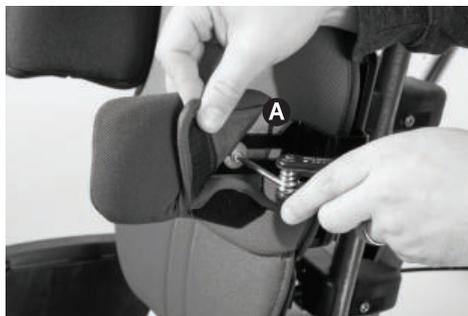
セクション 17.24: ラテラルの調節 (幅、高 さ、角度)

ラテラルの幅、高さ、角度を調節するには、ベーシックバックサポートの背面 **A** またはモデルレートバックサポートおよびコンプレックスバックサポートの背面にあるボルトを緩めます **B**。幅、高さ、角度を適切に調節したら、ボルトを締めて固定します。



セクション 17.25: ラテラルの調節 (奥行)

ラテラルの奥行を調節するには、カバーのマジックテープを開いて調節ボルト **A** を出します。ボルトを緩めて、適切な位置になるまで前後に動かします。ボルトを締めて、位置を固定します。カバーのマジックテープを留めます。



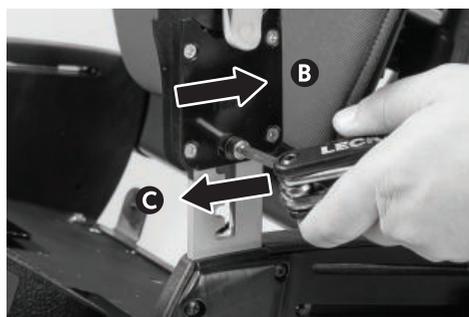
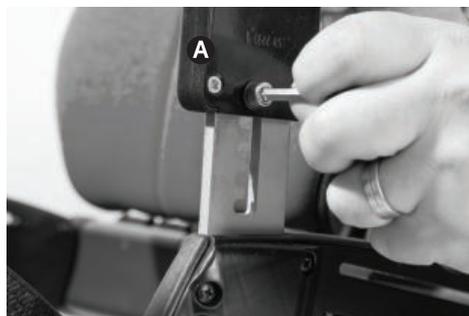
セクション 17.26: フレキシブル胸部全面ラ テラルパッドの調節

フレキシブルラテラルの部品はラテラルと同じ方法で調節できます。フレキシブルラテラルの張り具合を調整するには、前部ラテラルのストラップについているベルト **A** の長さを調節します。



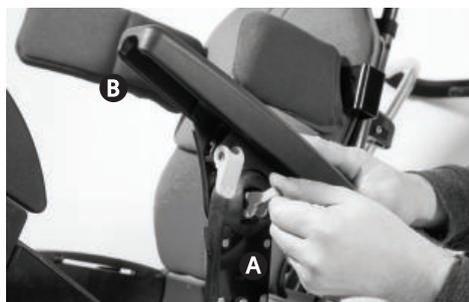
セクション 17.27: アームレストの高さの調 節

アームレストは数段階の高さに調節できます。アームレストの高さを調節するには、プレート溝の中央から少しずれたところにあるボルト **A** を緩めます。工具をボルトの頭に差したまま溝を横切るように反対側に向かってボルトを移動させます **B**。これにより、アームレストの高さを変えることができます。数段階ある高さのひとつにボルトを移動して頭を溝の中央から少しずれた元の位置に戻し **C**、ボルトを締めて固定します。



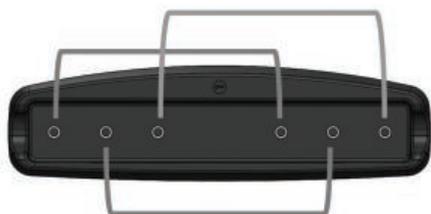
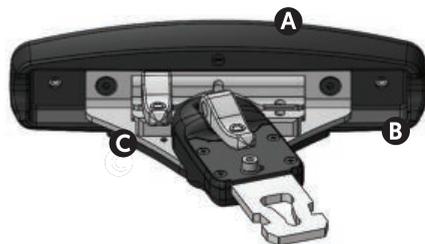
セクション 17.28: アームレスト角度の調節

アームレストの角度を調節するにはアームレスト中央にあるカムレバー **A** を使います。カムレバーを起こしてロックを解除し、アームレスト **B** の角度を好みの位置に調節します。カムレバーを下げて、位置を固定します **C**。



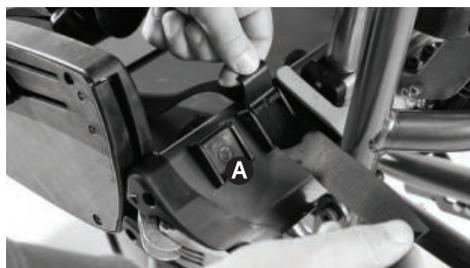
セクション 17.29: アームレストの奥行の調節

アームレストの奥行を調整するには、ボルト **A** を外してポリウレタンパッド **B** をプレート **C** から外します。3つのうちいずれかの位置にポリウレタンパッドを配置し、ボルトを差し込みます。ボルトを締めて、位置を固定します。



セクション 17.30: バタフライハーネスの調節

バタフライハーネスを調節するには、シートベース背面のカムバックル **A** またはバックサポート上部 **B** に通しているベルトの長さを変更します。あるいは、ハーネス **C** の四隅にあるストラップに付いているベルトいずれかの長さを調節します。



セクション 17.31: ヘッドサポートの調節

ヘッドサポートを調節するには、ボルト **A**、**B**、**C** を緩めます。ヘッドサポートの高さ、奥行、角度を適切な位置に調節します。ボルト **A**、**B**、**C** を締めて、位置を固定します。



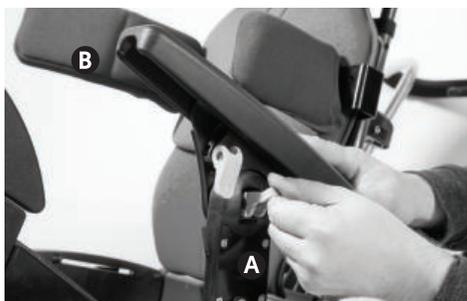
セクション 17.32: ヘッドサポートラテラルの 角度の調節

ヘッドサポートラテラルの角度を調整するには、カバー両端のファスナーを開いて上から調節ボルトにアクセスできるようにします。ボルト **A** を緩めて、ヘッドサポートラテラルを適切な位置に動かします。ボルトを締めて位置を固定し、カバーのファスナーを閉めます。



セクション 17.33: トレイ角度の調節

トレイの角度を調節するには、アームレスト中央にあるカムレバー **A** を使います。カムレバーを起こしてロックを解除し、アームレスト/トレイ **B** の角度を好みの位置に調節します。カムレバーを下げて、位置を固定します **C**。



トレイを挿入する際には常に、お子さまの手や腕が挟まれないように注意してください。

トレイを使って椅子を操作したり押ししたりすることは絶対にやめてください。

トレイには摂氏40度(華氏104度)を超える物を置かないでください。

トレイは使用者のみが使うことを想定しています。トレイにもたれたり、8kg(17.6lb)を超える物を置いたりしないでください。

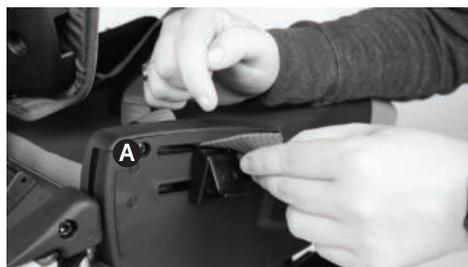
セクション 17.34: 肘ブロックの位置の調節

肘ブロックを調節するには、ボルトを緩め **A**、スロットに沿ってパッドをスライドさせて適切な位置にします。ボルトを締めて、位置を固定します。



セクション 17.35: 4点式ベルトの取り付け、 取り外し、調整

4点式ベルトを取り付けるには、グレーのベルトをシートの台座 **A** の上のスロットに通し、続いてカムバックル **B** に通します。黒のベルトを前方のカムバックル **C** に通します。ベルトをしっかり引いてカムバックルをとめます。ベルトのパッドがお子さまに向いていることを確認してください。



バックル **D** を前で留め、使用者を固定します。



常に骨盤ベルトを最初に取り付け、続いてその他の調整を行います。

4点式ベルトを外すには、この手順を逆にを行います。

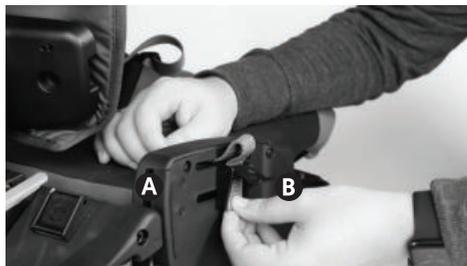


安全情報: 2点式ベルトを使用する際には、シートコアのスロットにベルトが通っていること(シートコアの上ではないこと)を確認してください。これは、4点式ベルトを使用する際にも推奨します。



セクション 17.36: 2点式ベルトの取り付け、 取り外し、調整

2点式ベルトを取り付けるには、グレーのベルトをシートの台座 **A** の上のスロットに通し、続いてカムバックル **B** に通します。ベルトをしっかりと引いてカムバックルをとめます。ベルトのパッドがお子さまに向いていることを確認してください。



バックル **C** を前で留め、使用者を固定します。



常に骨盤ベルトを最初に取り付け、続いてその他の調整を行います。

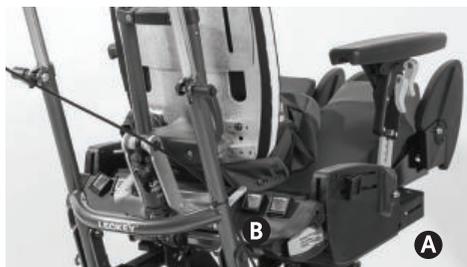
2点式ベルトを外すには、この手順を逆に行います。



安全情報：2点式ベルトを使用する際には、シートコアのスロットにベルトが通っていること（シートコアの上ではないこと）を確認してください。これは、4点式ベルトを使用する際にも推奨します。

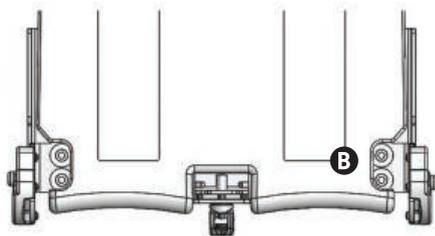
セクション 17.37: 骨盤クレイドルの調整

骨盤クレイドルを調節するには、シートベース側面のカムバックル **A** またはシート裏面 **B** に通しているベルトの長さを変更します。あるいは、前部ストラップ **C** の両側に付いているベルトの長さを調節します。



セクション 17.38: 大腿部サポートの調節 (幅および角度)

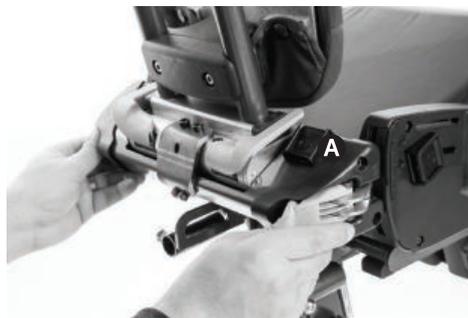
大腿部サポートの幅と角度を調節するには、シートクッションの前部を上げて **A**、ボルト **B** にアクセスできるようにします。ベーシックシートには、シートの外側だけに大腿部サポートがあります。分割シートには、4組の大腿部サポートがあります。ボルトを緩めて適切な位置に動かします。ボルトを締めて、位置を固定します。



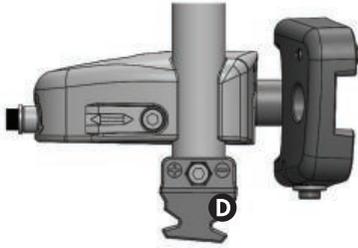
セクション 17.39: バックサポートの角度の 調節

バックサポートの角度は次の2通りの方法で調節できます:バックサポートのリクライニングメカニズム、およびバックサポートのベースにあるバックサポートインターフェイス。

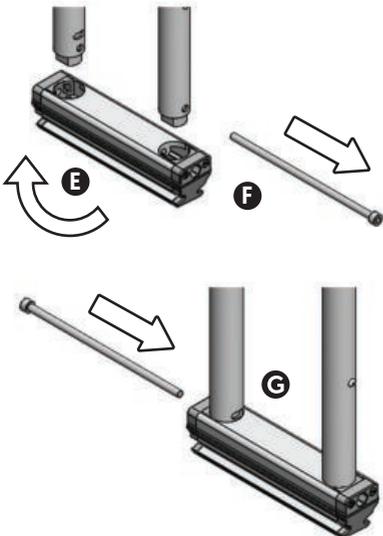
バックサポートのリクライニングメカニズムを使用してバックサポートの角度を調節するには、シート背面のロックレバー **A** を見つけます。両方のレバーを同時に外側に回し **B**、リクライニングメカニズムを解放してバックサポートを適切な位置に動かします。レバーを閉じた状態 **A** に戻し、固定します。



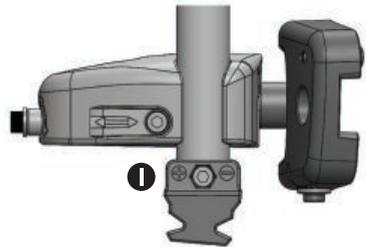
バックサポートのベースにあるバックサポートインターフェイスを使用してバックサポートの角度を調節するには、インターフェイスにあるボルト **D** を見つけます。



このユニットからボルトを完全に抜き、インターフェイスの突出部分 **E** と先端のキャップ **F** を縦方向のパイプから外して180度反転させます。縦方向のパイプをインターフェイスの突出部分と先端のキャップに差し込み **G**、すべてにボルトを通します。ボルトとナットを締めて、位置を固定します。



バックサポートのリクライニングメカニズムは、シート側面に図示されている通り **H**、5度刻みの6段階となっています。またバックサポートインターフェイスはインターフェイス先端のキャップの側面に図示されている通り **I**、5度刻みの2段階となっています。現在は +10度~-15度を示しています。



設定可能な角度と組み合わせを次に表に示します。

バックサポートのリクライニングメカニズム	バックサポートのインターフェイス (前面の記号)	シートの戻り角度 (度)	リクライニング幅 (度)
		90	0 -25
		90	+10 -15

セクション 17.40: 可動式バックサポートの 抵抗調節

抵抗は空気圧を変えることにより調節でき、使用者の体重、着座姿勢、シートのデザイン、個人的な好みによって決めます。

空気圧は、可動メカニズムのメイン空気バルブ **B** と空気ポンプ **A** (可動式バックサポートすべてに付属) を使用することにより調節できます。



空気圧を上げるには、希望する空気圧になるまでバルブに空気を入れます。空気圧を下げるには、希望する空気圧になるまでポンプの空気抜きバルブを押します。



警告: 空気圧の範囲は 50 ~250psi です。非圧縮ショックシステムの空気圧が 250psi を越えないようにしてください。最大圧力である 250lb/インチを超過すると、深刻な怪我を負う恐れがあります。



サンライズメディカルジャパン株式会社
Sunrise Medical Japan Co.,Ltd.
〒349-1145
埼玉県加須市間口456番地1
TEL:0480-31-6480
FAX:0480-31-6481
Email:info@sunrisemedical.jp

